

2025 年度 飯南中学校 第 1 学年 【教科：国語】 シラバス

1. 教科の目標

- 色々な国語作品（小説・随筆・説明文・詩・短歌・俳句・古典）や漢字・文法の学習を通して、国語への関心を高め、自分の国語に対する感性を豊かにし、ものの見方・考え方を深め、国語の基礎学力を伸ばし育てよう。
- 色々な題材を通して、自分の考えをその時々に応じて、相手や仲間に伝えたり、相手や仲間から聴き取ったりする力を養おう。
- 色々な題材をもとに、目的に応じて筋道を立て、文章を書いたりまとめたりする力を養おう。
- 色々な題材を通してその作品の意図する内容を的確に読み取り、しっかり把握する力を養おう。
- 言葉や文法についての学習を通して、しっかりした知識を身につけよう。
- 漢字や言葉を、正確に読み書く力、また意味を理解し正しく用いる力を養おう。

2. 評価の観点と内容

①	国語的事象への知識・技能	・社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付け、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができる。
②	国語的な思考・判断・表現力	・考える力や感じたり想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。
③	主体的に取り組む態度	・言葉がもつ価値に気付き、読書をすること、我が国の言語文化を大切にして思いや考えを伝え合おうとする。

3. 評価方法

- ・定期テスト（観点別の内容に沿って、どこまで到達しているか。）
- ・授業中の態度（授業内容をしっかりと考えているか。粘り強く学ぼうとしているか。）
（目標を理解して、作品と向き合い、内容の理解を深めているか。）
（内容についての理解や、自分の思いや考えを、明確に伝えられているか。）

4. 学習の手引き

使用教材	教科書 国語 1（光村図書） 副教材 スイッチ 1（正進社） 学習漢字ノート 1（浜島書店） すらすら基本文法（浜島書店）	持ち物	（左記以外に） 授業用ノート ファイル
学習方法	《学校》 ○毎時間の授業において学習課題をしっかりと持ち、課題に対して自主的に取り組む。 ○何事もじっくり考え、発想が広げられるようにし、疑問点を解決する努力をする。 ○協同学習を通して、学習課題に対して多面的に観たり考えたりする力をつける。 ○書かれたものを読んだり、相手の意見を聞いたりする中で、相手の意図を読み取る力をつける。 ○書いたり、相手に話したりするなど積極的に自分の考えや意見を表現する力をつける。 ○学習活動をふりかえり、わかったこと・課題を解決できたことの定着を図る。 ○得た知識をもとに、自分で考え、判断し、表現する力をつける。 《家庭学習》 ○漢字練習や教科書の通読、難語句の意味調べを中心に言語に関する予習・復習を行う。 ○副教材のワーク類や、授業で出された課題に取り組みながら、自主学習を充実させる。		

5. 年間計画

単元名				内容		
学期	月	単 元 計 画	試験	具体的な評価観点		具体的な評価方法
前期	4	〈授業の約束やマナー〉 〈オリエンテーション〉 ・朝のリレー ・野原はうたう	主体的に学習に取り組む態度 中間	・自分が持った課題に対してどのように準備し取り組もうとしているか。 ・国語に対する関心・意欲を持って授業に取り組もうとしているか。 ・学習した内容をしっかり振り返ろうとしているか。 ・広い範囲から話題を求め話したり聞いたりして、自分の見方や考え方を深められたか。 ・相手の立場や考えを尊重し、話したり聞いたりできるか。	・課題への取り組み ・授業態度・意欲 ・準備物や宿題の状況 ・ノート・ワーク ・自主学习 ・振り返りシート ・定期テストの振り返りシート	・聞く姿勢・発表状況（内容・話し方） ・暗唱テスト ・聞き取りテスト ・感想文・作文・詩 ・課題レポート ・授業ノート ・定期テスト ・音読
	5	・はじまりの風 ・音声の仕組みや働き ・話の構成を工夫しよう ・漢字の組み立てと部首				
	6	・ダイコンは大きな根？ ・ちょっと立ち止まって ・情報を整理して説明しよう				
	7	・空の詩 三編 ・比喻で広がる言葉の世界 ・読書を楽しむ				
	9	・文法（ことばの単位） ・大人になれなかった弟たちに…… ・星の花が降るころに				
後期	10	・聞き上手になろう ・漢字の音訓 ・「言葉」をもつ鳥、シジュウカラ ・根拠を明確にして書こう	思考・判断・表現 中間	・広い範囲から話題を求め話したり聞いたりして、自分の見方や考え方を深められているか。 ・自分の立場及び伝えたい事実事柄を明確に示せるか。 ・文章の形態に応じ適切な構成を工夫し、相手に伝わるように筋道立てて書けているか。 ・文章を正しく読めるか。 ・	・発表の内容・様子 ・説明・話す様子 ・討論の内容・様子 ・発表する態度 ・聞く態度 ・聞き取りの正確さ ・発問を正確に捉える力 ・発問に対する的確に答える力	・定期テスト ・小テスト ・話し合いの内容・様子 ・説明や発表の様子 ・課題レポート・作文 ・要旨や感想や意見等をまとめる問題 ・授業中の課題
	11	・文法（分の成分） ・いろは歌 ・蓬萊の玉の枝 - 「竹取物語」から ・今に生きる言葉				
	12	・「不便」の価値を見つ				

	め直す ・進め方について考えよう 1 ・少年の日の思い出 ・文法（単語の分類） 2 ・二十歳になった日 ・漢字の成り立ち 3 ・構成や描写を工夫して書こう ・1年間の学びを振り返ろう ・国語の力試し	知識 ・ 技能	・正しく漢字が書けるか。 ・知識・理解を問う問題を解けるか。 ・文法について正しい理解ができるか。	・発表の内容 ・定期テスト
--	--	---	---	--

2025 年度 飯南中学校 第 2 学年 【教科：国語】 シラバス

1. 教科の目標

- 色々な国語作品（小説・随筆・説明文・詩・短歌・俳句・古典）や漢字・文法の学習を通して、国語への関心を高め、自分の国語に対する感性を豊かにし、ものの見方・考え方を深め、国語の基礎学力を伸ばし育てよう。
- 色々な題材を通して、自分の考えをその時々に応じて、相手や仲間に伝えたり、相手や仲間から聴き取ったりする力を養おう。
- 色々な題材をもとに、目的に応じて筋道を立て、文章を書いたりまとめたりする力を養おう。
- 色々な題材を通しその作品の意図する内容を的確に読み取り、しっかり把握する力を養おう。
- 言葉や文法についての学習を通して、しっかりした知識を身につけよう。
- 漢字や言葉を、正確に読み書く力、また意味を理解し正しく用いる力を養おう。

2. 評価の観点と内容

①	国語的事象への知識・技能	・社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付け、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができる。
②	国語的な思考・判断・表現力	・考える力や感じたり想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。
③	主体的に取り組む態度	・言葉がもつ価値に気付き、読書をすること、我が国の言語文化を大切にして思いや考えを伝え合おうとする。

3. 評価方法

- ・定期テスト（観点別の内容に沿って、どこまで到達しているか。）
- ・授業中の態度（授業内容をしっかりと考えているか。粘り強く学ぼうとしているか。）
（目標を理解して、作品と向き合い、内容の理解を深めているか。）
（内容についての理解や、自分の思いや考えを、明確に伝えられているか。）

4. 学習の手引き

使用教材	教科書 国語 2（光村図書） 副教材 スイッチ 2（正進社） 学習漢字ノート 2（浜島書店） すらすら基本文法（浜島書店）	持ち物	（左記以外に） 授業用ノート ファイル
学習方法	《学校》 ○毎時間の授業において学習課題をしっかり持ち、課題に対して自主的に取り組む。 ○何事もじっくり考え、発想が広げられるようにし、疑問点を解決する努力をする。 ○協同学習を通して、学習課題に対して多面的に観たり考えたりする力をつける。 ○書かれたものを読んだり、相手の意見を聞いたりする中で、相手の意図を読み取る力をつける。 ○書いたり、相手に話したりするなど積極的に自分の考えや意見を表現する力をつける。 ○学習活動をふりかえり、わかったこと・課題を解決できたことの定着を図る。 ○得た知識をもとに、自分で考え、判断し、表現する力をつける。 《家庭学習》 ○漢字練習や教科書の通読、難語句の意味調べを中心に言語に関する予習・復習を行う。 ○副教材のワーク類や、授業で出された課題に取り組みながら、自主学習を充実させる。		

5. 年間計画

単元名				内容	
学期	月	単 元 計 画	識	具体的な評価観点	具体的な評価方法
前期	4	〈授業の約束やマナー〉 〈オリエンテーション〉 ・見えないだけ ・アイスプラネット	主体的に学習に取り組む態度 中間	・自分が持った課題に対してどのように準備し取り組もうとしているか。 ・国語に対する関心・意欲を持って授業に取り組もうとしているか。 ・学習した内容をしっかり振り返ろうとしているか。 ・広い範囲から話題を求め話したり聞いたりして、自分の見方や考え方を深められたか。 ・相手の立場や考えを尊重し、話したり聞いたりできるか。	・課題への取り組み ・授業態度・意欲 ・準備物や宿題の状況 ・ノート・ワーク ・自主学習 ・振り返りシート ・定期テストの振り返りシート
	5	・枕草子 ・魅力的な提案をしよう ・クマゼミ増加の原因を 探る			
	6	・熟語の構成 ・短歌に親しむ ・短歌を味わう ・言葉の力			
	7	・文法（自立語活用しない品詞） ・類義語・対義語・多義語 ・語彙を豊かに			
	9	・デジタル市民として生きる ・ヒューマノイド ・字のない葉書 ・表現を工夫して書こう ・敬語 ・同じ訓・同じ音をもつ漢字			
後期	10	・モアイは語る ・適切な根拠を選んで書こう	思考・判断・表現 中間	・広い範囲から話題を求め話したり聞いたりして、自分の見方や考え方を深められているか。 ・自分の立場及び伝えたい事実事柄を明確に示せるか。 ・文章の形態に応じ適切な構成を工夫し、相手に伝わるように筋道立てて書けているか。 ・文章を正しく読めるか。 ・	・定期テスト ・小テスト ・話し合いの内容・様子 ・説明や発表の様子 ・課題レポート・作文 ・要旨や感想や意見等をまとめる問題 ・授業中の課題
	11	・文法（用言） ・扇の的（「平家物語」） ・仁和寺にある法師（「徒然草」）			
	12	・漢詩の風景 ・君は「最後の晚餐」を知っているか ・自分らしさを認め合う社会へ			

	1	・ 文法（付属語） ・ 走れメロス		知	・ 正しく漢字が書けるか。	・ 発表の内容
	2	・ 描写を工夫して書こう ・ 話し言葉と書き言葉 ・ 送り仮名 ・ 国語の学びを振り返ろう	難	識 ・ 技 能	・ 知識・理解を問う問題を解けるか。 ・ 文法について正しい理解ができるか。	・ 定期テスト
	3	・ 鍵 ・ 国語の力試し				

2025 年度 飯南中学校 第 3 学年 【教科：国語】 シラバス

1. 教科の目標

- 色々な国語作品（小説・随筆・説明文・詩・短歌・俳句・古典）や漢字・文法の学習を通して、国語への関心を高め、自分の国語に対する感性を豊かにし、ものの見方・考え方を深め、国語の基礎学力を伸ばし育てよう。
- 色々な題材を通して、自分の考えをその時々に応じて、相手や仲間に伝えたり、相手や仲間から聴き取ったりする力を養おう。
- 色々な題材をもとに、目的に応じて筋道を立て、文章を書いたりまとめたりする力を養おう。
- 色々な題材を通しその作品の意図する内容を的確に読み取り、しっかり把握する力を養おう。
- 言葉や文法についての学習を通して、しっかりした知識を身につけよう。
- 漢字や言葉を、正確に読み書く力、また意味を理解し正しく用いる力を養おう。

2. 評価の観点と内容

①	国語的事象への知識・技能	・社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付け、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができる。
②	国語的な思考・判断・表現力	・考える力や感じたり想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。
③	主体的に取り組む態度	・言葉がもつ価値に気付き、読書をすること、我が国の言語文化を大切に思いや考えを伝え合おうとする。

3. 評価方法

- ・定期テスト（観点別の内容に沿って、どこまで到達しているか。）
- ・授業中の態度（授業内容をしっかりと考えているか。粘り強く学ぼうとしているか。）
（目標を理解して、作品と向き合い、内容の理解を深めているか。）
（内容についての理解や、自分の思いや考えを、明確に伝えられているか。）

4. 学習の手引き

使用教材	教科書 国語 3（光村図書） 副教材 スイッチ 3（正進社） 学習漢字ノート 3（浜島書店） すらすら基本文法（浜島書店）	持ち物	（左記以外に） 授業用ノート ファイル
学習方法	《学校》 ○毎時間の授業において学習課題をしっかりと持ち、課題に対して自主的に取り組む。 ○何事もじっくり考え、発想が広げられるようにし、疑問点を解決する努力をする。 ○協同学習を通して、学習課題に対して多面的に観たり考えたりする力をつける。 ○書かれたものを読んだり、相手の意見を聞いたりする中で、相手の意図を読み取る力をつける。 ○書いたり、相手に話したりするなど積極的に自分の考えや意見を表現する力をつける。 ○学習活動をふりかえり、わかったこと・課題を解決できたことの定着を図る。 ○得た知識をもとに、自分で考え、判断し、表現する力をつける。 《家庭学習》 ○漢字練習や教科書の通読、難語句の意味調べを中心に言語に関する予習・復習を行う。 ○副教材のワーク類や、授業で出された課題に取り組みながら、自主学習を充実させる。		

5. 年間計画

単元名				内容	
学期	月	単 元 計 画	試験	具体的な評価観点	具体的な評価方法
前期	4	授業の約束やマナー〈オリエンテーション〉 ・世界はうつくしいと ・握手	主体的に学習に取り組む態度	・自分が持った課題に対してどのように準備し取り組もうとしているか。 ・国語に対する関心・意欲を持って授業に取り組もうとしているか。 ・学習した内容をしっかり振り返ろうとしているか。 ・広い範囲から話題を求め話したり聞いたりして、自分の見方や考え方を深められたか。 ・相手の立場や考えを尊重し、話したり聞いたりできるか。	・課題への取り組み ・授業態度・意欲 ・準備物や宿題の状況 ・ノート・ワーク ・自主学习 ・振り返りシート ・定期テストの振り返りシート
	5	・説得力のある構成を考えよう ・相手や場に応じた言葉遣い ・学びて時にこれを習ふ（「論語」）			
	6	・作られた「物語」を超えて ・熟語の読み方 ・俳句の可能性 ・俳句を味わう			
	7	・言葉の釣り糸を垂らす。和語・漢語・外来語 ・実用的な文章を読もう			
	9	・挨拶一原爆の写真によせて ・故郷 ・慣用句・ことわざ・故事成語 ・漢字の造語力			
後期	10	・複数の意見を読んで、考えよう ・和歌の世界 ・君待つと（「万葉・古今・新古今」）	思考・判断・表現	・広い範囲から話題を求め話したり聞いたりして、自分の見方や考え方を深められているか。 ・自分の立場及び伝えたい事実事柄を明確に示せるか。 ・文章の形態に応じ適切な構成を工夫し、相手に伝わるように筋道立てて書けているか。 ・文章を正しく読めるか。 ・	・定期テスト ・小テスト ・話し合いの内容・様子 ・説明や発表の様子 ・課題レポート・作文 ・要旨や感想や意見等をまとめる問題 ・授業中の課題
	11	・夏草「おくのほそ道」から ・それでも、言葉を ・話し合いを効果的に進めよう			
	12	・合意形成に向けて話し合おう			

	・本は世界への扉	難 知 識 ・ 技 能	・正しく漢字が書けるか。 ・知識・理解を問う問題を解けるか。 ・文法について正しい理解ができるか。	・発表の内容 ・定期テスト
1 ・温かいスープ ・アラスカとの出会い 2 ・律儀な桜 ・私を束ねないで ・3年間の歩みを振り返ろう ・初日				

2025年度 飯南中学校 第1学年 社会(地理・歴史)のてびき

1 教科の目標

社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる 平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の 基礎を次のとおり育成することを目指す。

2 評価の観点と内容 3 評価方法

	観点	内容	評価の対象となるもの
①	知識・技能	我が国の国土と歴史、現代の政治、経済、国際関係等に関して理解しているとともに、調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめている。	・定期テスト ・白地図、語句チェック ・授業における活動（知識・技能の活動） ・単元ごとの「確かめ」の課題
②	思考・判断・表現	社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を、多面的・多角的に考察したり、社会にみられる課題の解決に向けて選択・判断したり、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりしている。	・定期テスト ・授業における活動（思考・判断・表現の活動） ・単元ごとの「深める」課題
③	主体的に学習に取り組む態度	社会的事象について、国家及び社会の担い手として、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとしている。	・授業におけるとりくみ姿勢 ・課題に対するとりくみ姿勢 ・次につなげる継続的な学びの姿勢（単元・毎時の振り返り）

4 学習の手引き

使用教材	教科書 中学生の地理（帝国書院） 新しい社会・歴史（東京書籍） 中学校社会科地図（帝国書院） 副教材 よくわかる社会の学習：地理1、歴史1（明治図書）	もちもの	教科書・ノート・ワーク、iPad、のり 赤ペン、青ペン、その他指示のあったもの。
学習方法	※「なぜ」を大切に 学 校 ・チャイムが鳴るまでに授業の準備をして、着席しておこう。【態度】 ・授業ごとの課題をきちんと理解し、課題を解決することを心がけよう。【態度】 ・授業の内容をしっかりと聴き、ノートにメモしていこう。【知・技、態度】 ・授業ごとに課題に対する自分の考え、振り返りを必ず書こう。【思・判・表、態度】 ・地図やグラフなど資料を読み取る技術を身につけよう。【思・判・表】 ・「いいトーク」、議論など授業での活動には意欲的に参加しよう。【思・判・表、態度】 ・単元ごとの課題は期限までに提出できるように計画的に取り組もう。【思・判・表、態度】 ・中間、期末テストで結果を出そう。【知・技、思・判・表】 家 庭 ※自分で「読む力」「解く力」「書き表す力」を磨きましょう。 ・メディアや本などで社会的事象に興味・関心を持とう。 ・まず教科書を読んで、自分なりに理解してみてください。 ・プリントなどの問題をする場合は、まず問題を読み、理解した上で解いていこう。 ・テストは日々の積み重ねが結果にあらわれます。 ・配られた問題プリント、テストは高校受験のときのために必ず保管しておこう。 ・時間は限られています。大切に使いましょう		

【社会科】年間指導計画 第1学年

月	時	第1学年（105 時間）地 理・歴 史	
4 月	6	1 部 世界と日本の地域構成 ①世界の姿	5
5 月	12	②日本の姿 2 部 世界のさまざまな地域 ①人々の生活と環境 ②世界の諸地域	5 9
6 月	12	・ アジア州 ・ ヨーロッパ	8 7
7 月	6	・ アフリカ	5
9 月	12	・ 北アメリカ	6
評価などの予備時間		2	
10 月	12	・ 南アメリカ ・ オセアニア 持続可能な社会の実現に向けて（歴史） 1 章 歴史へのとびら	5 4 1
11 月	12	①歴史をとらえる見方・考え方 ②身近な地域の歴史 2 章 古代までの日本 導入	4 2 1
12 月	9	①世界の古代文明と宗教の歴史 ②日本列島の誕生と大陸と交流 ③古代国家の歩みと東アジア世界（前半） ③（後半） まとめ	5 3 5 3 2
1 月	9	地域の歴史を調べよう	6
2 月	12	3 章 中世の日本 導入 ①武士の政権の成立 ②ユーラシアの動きと武士の政治の展開 まとめ	1 5 7 2
3 月	3		
評価などの予備時間		2	
合計	地理	(54)	歴史 (47)
	評価などの予備時間		4

2025年度 飯南中学校 第2学年 社会(地理・歴史)のてびき

1 教科の目標

社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる 平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の 基礎を次のとおり育成することを目指す。

2 評価の観点と内容 3 評価方法

	観点	内容	評価の対象となるもの
①	知識・技能	我が国の国土と歴史、現代の政治、経済、国際関係等に関して理解しているとともに、調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめている。	・定期テスト ・白地図、語句チェック ・授業における活動（知識・技能の活動） ・単元ごとの「確かめ」の課題
②	思考・判断・表現	社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を、多面的・多角的に考察したり、社会にみられる課題の解決に向けて選択・判断したり、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりしている。	・定期テスト ・授業における活動（思考・判断・表現の活動） ・単元ごとの「深める」課題
③	主体的に学習に取り組む態度	社会的事象について、国家及び社会の担い手として、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとしている。	・授業におけるとりくみ姿勢 ・課題に対するとりくみ姿勢 ・次につなげる継続的な学びの姿勢（単元・毎時の振り返り）

4 学習の手引き

使用教材	教科書 中学生の地理（帝国書院） 新しい社会・歴史（東京書籍） 中学校社会科地図（帝国書院） 副教材 よくわかる社会の学習：地理2、歴史2・3（明治図書）	もちもの	教科書・ノート・ワーク、iPad、のり 赤ペン、青ペン、その他指示のあったもの。
学習方法	※「なぜ」を大切に 学 校 ・チャイムが鳴るまでに授業の準備をして、着席しておこう。【態度】 ・授業ごとの課題をきちんと理解し、課題を解決することを心がけよう。【態度】 ・授業の内容をしっかりと聴き、ノートにメモしていこう。【知・技、態度】 ・授業ごとに課題に対する自分の考え、振り返りを必ず書こう。【思・判・表、態度】 ・地図やグラフなど資料を読み取る技術を身につけよう。【思・判・表】 ・「いいトーク」、議論など授業での活動には意欲的に参加しよう。【思・判・表、態度】 ・単元ごとの課題は期限までに提出できるように計画的に取り組もう。【思・判・表、態度】 ・中間、期末テストで結果を出そう。【知・技、思・判・表】 家 庭 ※自分で「読む力」「解く力」「書き表す力」を磨きましょう。 ・メディアや本などで社会的事象に興味・関心を持とう。 ・まず教科書を読んで、自分なりに理解してみてください。 ・プリントなどの問題をする場合は、まず問題を読み、理解した上で解いていこう。 ・テストは日々の積み重ねが結果にあらわれます。 ・配られた問題プリント、テストは高校受験のときのために必ず保管しておこう。 ・時間は限られています。大切に使いましょう		

【社会科】年間指導計画 第2学年

月	時	第2学年（105時間）地 理・歴 史	
4月	6	(地理) 第3部 日本のさまざまな地域 第1章 身近な地域の調査 第2章 日本の地域的特色	4 13
5月	12	第3章 日本の諸地域 ①九州地方	1 5
6月	12	②中国・四国地方 ③近畿地方	5 5
7月	6	④中部地方	5
9月	12	⑤関東地方 ⑥東北地方	6 5
評価などの予備時間		8	
10月	12	⑦北海道地方 (歴史) 第4章 近世の日本 ②江戸幕府の成立と対外政策 ③産業の発展と幕府政治の動き	5 5 7
11月	12	まとめ 第5章 日本の近代化 導入	1 1
12月	9	① 欧米における近代化の進展 ② 欧米の進出と日本の開国	5 4
1月	9	① 明治維新 ② 日清・日露戦争と近代産業	8 6
2月	12	まとめ	1
3月	3		
評価などの予備時間		8	
合計	地理 (54) 歴史 (38)		
	評価などの予備時間 16		

2025年度 飯南中学校 第3学年 社会(歴史・公民)のてびき

1 教科の目標

社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる 平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の 基礎を次のとおり育成することを目指す。

2 評価の観点と内容 3 評価方法

	観点	内容	評価の対象となるもの
①	知識・技能	我が国の国土と歴史、現代の政治、経済、国際関係等に関して理解しているとともに、調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめている。	・定期テスト ・白地図、語句チェック ・授業における活動（知識・技能の活動） ・単元ごとの「確かめ」の課題
②	思考・判断・表現	社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を、多面的・多角的に考察したり、社会にみられる課題の解決に向けて選択・判断したり、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりしている。	・定期テスト ・授業における活動（思考・判断・表現の活動） ・単元ごとの「深める」課題
③	主体的に学習に取り組む態度	社会的事象について、国家及び社会の担い手として、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとしている。	・授業におけるとりくみ姿勢 ・課題に対するとりくみ姿勢 ・次につなげる継続的な学びの姿勢（単元・毎時の振り返り）

4 学習の手引き

使用教材	教科書 新しい社会・歴史（東京書籍） 新しい社会・公民（東京書籍） 副教材 歴史の学習②③（浜島書店） 公民の学習（浜島書店）	もちもの	教科書・ノート・ワーク、iPad、のり赤ペン、青ペン、その他指示のあったもの。
学習方法	※「なぜ」を大切に ・チャイムが鳴るまでに授業の準備をして、着席しておこう。【態度】 ・授業ごとの課題をきちんと理解し、課題を解決することを心がけよう。【態度】 ・授業の内容をしっかりと聴き、ノートにメモしていこう。【知・技、態度】 ・授業ごとに課題に対する自分の考え、振り返りを必ず書こう。【思・判・表、態度】 ・地図やグラフなど資料を読み取る技術を身につけよう。【思・判・表】 ・「いいトーク」、議論など授業での活動には意欲的に参加しよう。【思・判・表、態度】 ・単元ごとの課題は期限までに提出できるように計画的に取り組もう。【思・判・表、態度】 ・中間、期末テストで結果を出そう。【知・技、思・判・表】		
家庭	※自分で「読む力」「解く力」「書き表す力」を磨きましょう。 ・メディアや本などで社会的事象に興味・関心を持とう。 ・まず教科書を読んで、自分なりに理解してみてください。 ・プリントなどの問題をする場合は、まず問題を読み、理解した上で解いていこう。 ・テストは日々の積み重ねが結果にあらわれます。 ・配られた問題プリント、テストは高校受験のときのために必ず保管しておこう。 ・時間は限られています。大切に使いましょう		

【社会科】年間指導計画 第3学年

月	時	第3学年（140 時間）歴 史・公 民	
4 月	8	(歴史) 5 編 2 章 二度の世界大戦と日本 導入 ①第一次世界大戦と戦後の世界 ②大正デモクラシーの時代 ③世界恐慌と中国との戦争 ④第二次世界大戦と日本 まとめ	1 3 3 4 4 1
5 月	15	6 編 近代の日本と世界 導入 ①平和と民主化への動き 6 ②国際化する世界と日本 5 まとめ	1 1
6 月	17	歴史を学んで	1
7 月	8	(公民) 持続可能な社会の実現に向けて（公民）/公民学習の初めに 1 章 現代社会と私たち 導入 ①現代社会の特色と私たち ②私たちの生活と文化 ③現代社会の見方と考え方 まとめ	1 1 4 3 4 1
9 月	15	2 章 個人の尊重と日本国憲法 導入 ①人権と日本国憲法	1 5
評価などの予備時間		8	
10 月	17	②人権と共生社会 ③これからの人権保障 まとめ 3 章 現代の民主政治と社会 導入 ①現代の民主政治	6 3 1 1 6
11 月	15	②国の政治の仕組み ③地方自治と私たち まとめ	10 5 1
12 月	12	4 章 私たちの暮らしと経済 導入 ①消費生活と市場経済 5	1 1
1 月	12	②生産と労働 ③市場経済の仕組みと金融 ④財政と国民の福祉 ⑤これからの経済と社会 まとめ	5 6 4 2 1
2 月	16	5 章 地球社会と私たち 導入 ①国際社会の仕組み ②さまざまな国際問題 5 ③これからの地球社会と日本 まとめ	1 5 2 1 4
3 月	5	終章 より良い社会を目指して	
評価などの予備時間		8	
合計	歴史 (29)		歴史 (95)
	評価などの予備時間		16

2025年度 飯南中学校 第 1 学年【教科：数学】シラバス

1.教科の目標

数量、図形などに関する基礎的な概念や原理・法則の理解を深め、事象を数理的に考察する能力を高める。
また、数学的活動の楽しさ、表現や考え方のよさを知り、それらを進んで活用しようとする態度を育てる。

2.評価の観点と内容

	観点	内容
①	知識・技能	数量・図形などに関する基礎的な原理や法則などを理解するとともに、事象を数理的に捉えたり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付ける。
②	思考・判断・表現	数量・図形などの関係や法則、性質を直観的に捉え、論理的に考察したり、数量の関係を見いだし、その特徴やデータの傾向を読み取り、批判的に考察して判断したりすることができる。
③	主体的に学習に取り組む態度	数学的活動の楽しさや数学のよさに気付いて粘り強く考え、数学を生活や学習にすすんで生かそうとしたり、問題解決の過程を振り返って検討しようとしたり、多面的に捉え考えようとする。

3.評価方法

【授 業】

- ・授業の内容を、粘り強く学ぼうとしているか。
- ・自らの学びを自分なりに工夫したり、人に聞いたりするなどの調整をしているか。

【提出物】

- ・ワーク、課題プリント(自主的に問題を解き、なぜその答えになるかをしっかりと考えているか)
- ・家庭学習
- ・授業プリント(毎授業の振り返り)

【テスト】

- ・定期テスト(観点別内容に沿ってどこまで到達しているか)
- ・単元テスト

4.学習の手引き

使用教材	教科書 未来へひろがる数学1 (啓林館) 副教材 数学の学習ノート 1 ICT機器 ※学校で1人1台用意します。	もちもの	教科書、ノート1冊、ワーク、直定規、コンパス (分度器、三角定規)、ファイル
学習方法	学 校	・小学校の学習内容をしっかりと振り返り、身につけておく。 ・板書だけでなく、ノートは板書だけでなく、気付いたことなど工夫して丁寧に書き、自分のノートを作っていく。 ・数学は、積み重ねの学問。分からないところは、そのままにせず、自分から進んで解決する努力をする。 ・答えを確認するのではなく、なぜその答えになるかをしっかりと考えていく。	
	家 庭	・答えを確認するのではなく、なぜその答えになるかをしっかりと考えていく。 ・振り返りシートを活用し、主体的に学習に取り組む。 ・自分の理解できていること、疑問点を確認し、問題の解決につなげていく。 ・教科書の問題、ワーク、授業で配られたプリントは必ず取り組む。 ・速く正確に問題が解けるように、何度も繰り返し解いていく。 ・生活の中で数学の見方や考え方、表現することがないかを探してみる。	

5. 年間計画

月	単元名	内容の評価と観点
4	1章 正の数・負の数 1節 正の数・負の数 ・0より小さい数 ・正の数・負の数で量で表すこと ・絶対値と数の大小	○正の数と負の数の必要性和意味を考えようとしている。 ○正の数・負の数を数直線を用いて表せ、その大小を判断できる。 ○正の数と負の数について学んだことを生活や学習にいかそうとしている。
5	2節 正の数・負の数の計算 ・正の数・負の数の加法、減法 ・正の数・負の数の乗法、除法 ・いろいろな計算 ・数の世界のひろがり	○正の数・負の数の加法、減法の計算ができる。 ○正の数・負の数の乗法、除法の計算ができる。 ○かっこを含む計算、加減乗除が混じった計算ができる。
6	3節 正の数・負の数の利用 ・正の数・負の数の利用	○正の数と負の数を活用した問題解決の過程をふり返って検討しようとしている。
中間	2章 文字の式 1節 文字を使った式 ・数量を文字で表すこと ・文字式の表し方 ・式の値	○文字を用いることの必要性和意味を考え、式に表したり、式の値を求め、文字の式についての理解を深める。 ○文字式のきまりにしたがって表し、数量や数量の関係を等式、不等式に表すことができる。
7	2節 文字式の計算 ・文字式の加法、減法 ・文字式と数の乗法、除法 ・関係を表す式	○文字を用いた式について学んだことを生活や学習にいかそうとしている。 ○文字を用いた式を活用した問題解決の過程をふり返って検討しようとしている。
9	3節 文字式の利用 ・文字式の利用	
期末	3章 方程式 1節 方程式 ・方程式とその解 ・方程式の解き方 ・比と比例式	○一元一次方程式の必要性和意味を考えようとしている。 ○一元一次方程式の解法を理解し、その解法に習熟する。 ○一元一次方程式について学んだことを生活や学習にいかそうとしている。
10	2節 方程式の利用 ・方程式の利用 ・比例式の利用	○一元一次方程式を活用した問題解決の過程をふり返って検討しようとしている。
11	4章 変化と対応 1節 関数 ・関数 2節 比例 ・比例の式・座標 ・比例のグラフ 3節 反比例 ・反比例の式・反比例のグラフ 4節 比例反比例の利用 ・比例、反比例の利用	○比例、反比例の必要性和意味を考えようとしている。 ○ともなって変わる2つの数量を見だし、変化の様子や対応の特徴が理解できる。 ○座標と座標平面の考え方を理解する。 ○関数を表やグラフや式で表すことができる。 ○関数について学んだことを生活や学習にいかそうとしている。
中間	5章 平面図形 1節 直線と図形 ・直線と図形 2節 移動と作図 ・図形の移動・基本の作図 3節 移動と作図の利用 ・図形の移動と基本の作図の利用	○比例、反比例を活用した問題解決の過程をふり返り検討しようとしている。
12	4節 円とおうぎ形 ・円とおうぎ形の性質 ・円とおうぎ形の計量	○平面図形の性質や関係を捉えることの必要性和意味を考えようとしている。 ○平行、回転、対称移動の意味を理解する。 ○基本的な作図や図形の移動を活用した問題解決の過程をふり返って検討しようとしている。
1	6章 空間図形 1節 立体と空間図形 ・いろいろな立体 ・空間内の平面と直線 ・立体の構成	○円の接線、弧、弦の意味を理解する。 ○ π を用いて、おうぎ形について求めることができる。 ○平面図形について学んだことを生活や学習にいかそうとしている。
2	2節 立体の体積と表面積 ・立体の体積・立体の表面積 3節 空間図形の利用 ・空間図形の利用	○空間図形の性質や関係を捉えることの必要性和意味を身のまわりの具体物をイメージしながら考えようとしている。 ○さまざまな立体の体積と表面積を求めることができる。
期末	7章 データの活用 1節 ヒストグラムと相対度数 ・データを活用して問題を解決しよう ・整理されたデータから読みとろう	○空間図形について学んだことを生活や学習にいかそうとしている。 ○空間図形の性質や関係を活用した問題解決の過程をふり返って検討しようとしている。
3	2節 データにもとづく確率 ・相対度数と確率	○データの必要性和意味を考え、生活や学習にいかそうとしている。 ○ヒストグラムや相対度数、確率などを活用した問題解決の過程をふり返って検討しようとしたり、多面的に捉え考えようとしたりしている。

2025年度 飯南中学校 第 2 学年【教科：数学】シラバス

1.教科の目標

数量、図形などに関する基礎的な概念や原理・法則の理解を深め、事象を数理的に考察する能力を高める。
また、数学的活動の楽しさ、表現や考え方のよさを知り、それらを進んで活用しようとする態度を育てる。

2.評価の観点と内容

	観点	内容
①	知識・技能	数量・図形などに関する基礎的な原理や法則などを理解するとともに、事象を数理的に捉えたり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付ける。
②	思考・判断・表現	数量・図形などの関係や法則、性質を直観的に捉え、論理的に考察したり、数量の関係を見いだし、その特徴やデータの傾向を読み取り、批判的に考察して判断したりすることができる。
③	主体的に学習に取り組む態度	数学的活動の楽しさや数学のよさに気付いて粘り強く考え、数学を生活や学習にすすんで生かそうとしたり、問題解決の過程を振り返って検討しようとしたり、多面的に捉え考えようとする。

3.評価方法

【授 業】	・授業の内容を、粘り強く学ぼうとしているか。 ・自らの学びを自分なりに工夫したり、人に聞いたりするなどの調整をしているか。
【提出物】	・ワーク、課題プリント(自主的に問題を解き、なぜその答えになるかをしっかりと考えているか) ・家庭学習 ・授業プリント(毎授業の振り返り)
【テスト】	・定期テスト(観点別内容に沿ってどこまで到達しているか) ・単元テスト

4.学習の手引き

使用教材	教科書 未来へひろがる数学2 (啓林館) 副教材 数学の学習ノート2 ICT機器 ※学校で1人1台用意します。	もちもの	教科書、ノート1冊、ワーク、直定規、コンパス (分度器、三角定規)、ファイル
学習方法	学 校	・1, 2年生の学習内容をしっかりと振り返り、身につけておく。 ・ノートは板書だけでなく、気付いたことなど工夫して丁寧に書き、自分のノートを作っていく。 ・数学は、積み重ねの学問。分からないところは、そのままにせず、自分から進んで解決する努力をする。 ・答えを確認するのではなく、なぜその答えになるかをしっかりと考えていく。	
	家 庭	・答えを確認するのではなく、なぜその答えになるかをしっかりと考えていく。 ・振り返りシートを活用し、主体的に学習に取り組む。 ・自分の理解できていること、疑問点を確認し、問題の解決につなげていく。 ・教科書の問題、ワーク、授業で配られたプリントは必ず取り組む。 ・速く正確に問題が解けるように、何度も繰り返し解いていく。 ・生活の中で数学の見方や考え方、表現することがないかを探してみる。	

5. 年間計画

月	単元名	内容の評価と観点
4	1章 式の計算 1節 式の計算 ・式の加法, 減法 ・いろいろな多項式の計算 ・単項式の乗法, 除法	○文字を用いた式の必要性和意味を考えようとしている。 ○単項式, 多項式, 式の次数, 同類項の意味を理解し, 計算ができる。 ○文字を用いた式について学んだことを生活や学習にいかそうとしている。
5	2節 文字式の利用 ・文字式の利用 2章 連立方程式 1節 連立方程式 ・連立方程式とその解 ・連立方程式の解き方	○文字を用いた式を活用した問題解決の過程をふり返って評価・改善しようとしている。 ○連立方程式の必要性和意味を考え, 解くことができる。 ○連立方程式について学んだことを生活や学習にいかそうとしている。
6	2節 連立方程式の利用 ・連立方程式の利用 3章 一次関数 1節 一次関数とグラフ ・一次関数 ・一次関数の値の変化 ・一次関数のグラフ ・一次関数の式を求めること	○連立方程式を活用した問題解決の過程をふり返って評価・改善しようとしている。 ○一次関数の必要性和意味を考えようとしている。 ○一次関数について, その関係を式で表したり, 変化の割合を求めたりすることができる。
7	2節 一次関数と方程式 ・方程式とグラフ ・連立方程式とグラフ 3節 一次関数の利用 ・一次関数の利用	○切片や傾きをもとに, 一次関数のグラフがかけられる。 ○いろいろな条件をみたす一次関数を求めることができる。
9 期末	4章 図形の調べ方 1節 平行と合同 ・角と平行線 ・多角形の角 ・三角形の合同	○連立方程式の解とグラフの交点の座標との関係を利用し考えられる。 ○一次関数について学んだことを生活や学習にいかそうとしている。 ○一次関数を活用した問題解決の過程をふり返って評価・改善しようとしている。
10	2節 図形の性質の利用 ・図形の性質の利用 3節 証明 ・証明とそのしくみ ・証明の進め方	○平行線の性質や多角形の角の性質を理解している。 ○図形の性質などを証明することの必要性和意味を考えようとしている。
11	5章 図形の性質と証明 1節 三角形 ・二等辺三角形 ・直角三角形の合同 2節 四角形 ・平行四辺形の性質 ・平行四辺形になるための条件 ・いろいろな四角形 ・平行線と面積	○平面図形の性質について学んだことを生活や学習にいかそうとしている。 ○平面図形の性質を活用した問題解決の過程をふり返って評価・改善しようとしている。
12	3節 図形の性質と証明の利用 ・図形の性質を利用した証明 6章 場合の数と確率 1節 場合の数と確率 ・確率の求め方 ・いろいろな確率 1節 確率の利用 ・確率の利用 7章 箱ひげ図とデータの活用 1節 箱ひげ図 ・箱ひげ図 ・データを活用して問題を解決しよう	○定義と定理, 逆の意味を理解している。 ○二等辺三角形の性質や平行四辺形の性質, 平行四辺形になるための条件を利用して, 図形のいろいろな性質を考察することができる。 ○面積を変えないで図形の形を変えることができる。 ○三角形や平行四辺形の性質について学んだことを生活や学習にいかし, 活用した問題解決の過程をふり返って評価・改善しようとしている。
1 2 3 期末		○場合の数をもとにして得られる確率の必要性和意味を考え, 学んだことを生活や学習にいかそうとしている。 ○確率を活用した問題解決の過程をふり返って評価・改善しようとしている。
		○箱ひげ図や四分位範囲の必要性和意味を考え, 学んだことを生活や学習にいかそうとしている。また, 多様な考えを認め, よりよく問題解決しようとしている。

2025年度 飯南中学校 第 3 学年【教科：数学】シラバス

1.教科の目標

数量、図形などに関する基礎的な概念や原理・法則の理解を深め、事象を数理的に考察する能力を高める。
また、数学的活動の楽しさ、表現や考え方のよさを知り、それらを進んで活用しようとする態度を育てる。

2.評価の観点と内容

	観点	内容
①	知識・技能	数量・図形などに関する基礎的な原理や法則などを理解するとともに、事象を数理的に捉えたり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付ける。
②	思考・判断・表現	数量・図形などの関係や法則、性質を直観的に捉え、論理的に考察したり、数量の関係を見いだし、その特徴やデータの傾向を読み取り、批判的に考察して判断したりすることができる。
③	主体的に学習に取り組む態度	数学的活動の楽しさや数学のよさに気付いて粘り強く考え、数学を生活や学習にすすんで生かそうとしたり、問題解決の過程を振り返って検討しようとしたり、多面的に捉え考えようとする。

3.評価方法

【授業】	・授業の内容を、粘り強く学ぼうとしているか。 ・自らの学びを自分なりに工夫したり、人に聞いたりするなどの調整をしているか。
【提出物】	・ワーク、課題プリント(自主的に問題を解き、なぜその答えになるかをしっかりと考えているか) ・家庭学習 ・授業プリント(毎授業の振り返り)
【テスト】	・定期テスト(観点別内容に沿ってどこまで到達しているか) ・単元テスト

4.学習の手引き

使用教材	教科書 未来へひろがる数学3 (啓林館) 副教材 数学の学習ノート 3 ICT機器 ※学校で1人 1 台用意します。	もちもの	教科書、ノート1冊、ワーク、直定規、コンパス (分度器、三角定規)、ファイル
学習方法	学 校 ・1, 2年生の学習内容をしっかりと振り返り、身につけておく。 ・ノートは板書だけでなく、気付いたことなど工夫して丁寧に書き、自分のノートを作っていく。 ・数学は、積み重ねの学問。分からないところは、そのままにせず、自分から進んで解決する努力をする。 ・答えを確認するのではなく、なぜその答えになるかをしっかりと考えていく。	家 庭 ・答えを確認するのではなく、なぜその答えになるかをしっかりと考えていく。 ・振り返りシートを活用し、主体的に学習に取り組む。 ・自分の理解できていること、疑問点を確認し、問題の解決につなげていく。 ・教科書の問題、ワーク、授業で配られたプリントは必ず取り組む。 ・速く正確に問題が解けるように、何度も繰り返し解いていく。 ・生活の中で数学の見方や考え方、表現することがないかを探してみる。	

5. 年間計画

月	単元名	内容の評価と観点
4	1章 式の展開と因数分解 1節 式の展開と因数分解 ・式の乗法, 除法 ・乗法の公式 ・因数分解	○式の展開や因数分解の必要性和意味を考え、利用して、数の計算や図形の性質について考察することができる。 ○多項式について学んだことを生活や学習にいかし、活用した問題解決の過程をふり返って評価・改善しようとしている。
5	2節 式の計算の利用 ・式の計算の利用 2章 平方根 1節 平方根 ・平方根 ・平方根の値 ・有理数と無理数 ・真の値と近似値	○数の平方根の必要性和意味を考えようとしている。 ○無理数を考えることによって数の範囲が拡張されている, という見方ができる。 ○数の平方根について学んだことを生活や学習にいかそうとしている。
6	2節 根号をふくむ式の計算 ・根号をふくむ式の乗法, 除法 ・根号をふくむ式の計算 3節 平方根の利用 ・平方根の利用	○数の平方根を活用した問題解決の過程をふり返って評価・改善しようとしている。
7	3章 二次方程式 1節 二次方程式 ・二次方程式とその解き方 ・二次方程式の解の公式 ・二次方程式と因数分解 2節 二次方程式の利用 ・二次方程式の利用	○二次方程式の必要性和意味を考え、学んだことを生活や学習にいかそうとしている。 ○因数分解や平方根の考えや解の公式を利用して二次方程式を解くことができる。 ○二次方程式を活用した問題解決の過程をふり返って評価・改善しようとしている。
9 期末	4章 関数 $y=ax^2$ 1節 関数とグラフ ・関数 $y=ax^2$ ・関数 $y=ax^2$ のグラフ 2節 関数$y=ax^2$の値の変化 ・関数 $y=ax^2$ の値の増減と変域 ・関数 $y=ax^2$ の変化の割合 3節 いろいろな事象と関数の利用 ・関数 $y=ax^2$ の利用 ・いろいろな関数の利用	○関数 $y=ax^2$ の必要性和意味を考え、グラフをかいたり, その特徴を調べたりすることができる。 ○グラフが階段状になる関数について, 値の変化を調べたり2つの関数の値を比較し考察したりすることができる。 ○関数 $y=ax^2$ について学んだことを生活や学習にいかそうとしている。
10	5章 図形と相似 1節 図形と相似 ・相似な図形 ・三角形の相似条件 ・三角形の相似条件と証明 2節 平行線と線分の比 ・平行線と線分の比 ・中点連結定理 3節 相似な図形の計量 ・相似な図形の面積 ・相似な立体の表面積・体積	○相似な図形の性質の必要性和意味を考察することができる。 ○三角形の相似条件を利用して図形の性質を考察し, それを証明することができる。 ○三角形の比の性質, 中点連結定理, 平行線と比の性質を証明することができる, それらを利用して, いろいろな線分の長さを求めることができる。 ○図形の相似について学んだことを生活や学習にいかそうとしている。
11	4節 相似の利用 ・相似の利用 6章 円の性質 1節 円周角と中心角 ・円周角と中心角 ・円周角の定理の逆 2節 円の性質の利用 ・円の性質の利用	○円周角と中心角の関係の必要性和意味を考え、学んだことを生活や学習にいかそうとしている。 ○円周角と中心角の関係を活用した問題解決の過程をふり返って評価・改善しようとしている。
12	7章 三平方の定理 1節 直角三角形の3辺の関係 ・三平方の定理 2節 三平方の定理の利用 ・平面における線分の長さや面積 ・空間における線分の長さや体積	○三平方の定理の必要性和意味を考え、学んだことを生活や学習にいかそうとしている。 ○三平方の定理を活用した問題解決の過程をふり返って評価・改善しようとしている。
1	8章 標本調査とデータの活用 1節 標本調査 ・標本調査の方法 ・母集団と標本の関係 ・データを活用して問題を解決しよう	○標本調査の必要性和意味を考え、学んだことを生活や学習にいかそうとしている。 ○標本調査を活用した問題解決の過程をふり返って評価・改善しようとしたり, 多様な考えを認め, よりよく問題解決しようとしている。
2 期末		

2025年度 飯南中学校 第1学年【教科:理科】シラバス

1.教科の目標

自然の事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、自然の事物・現象を科学的に探究するために必要な資質、能力を次の通り育成することを目指す。

2.評価の観点と内容

	観点	内容
①	理科学事象への知識・技能	自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けることができる。
②	理科学的な思考・判断・表現力	観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養うことができる。
③	主体的に学習に取り組む態度	自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養うことができる。

3.評価方法

ノート、ワーク（授業内容がまとめられているか。自主的に問題を解き、答え合わせや訂正ができているか。）
 定期テスト（観点別の内容に沿って、どこまで到達しているか。）
 授業中の態度（授業内容をしっかりと考えているか。粘り強く学ぼうとしているか。実験への姿勢。）
 観察、実験における結果のまとめ、考察（正しい結果が得られているか、結果から考察を行っているか。）
 ふりかえり（授業で大切なことは何か考えまとめているか。疑問をみつけ調べるなど意欲が見られるか。）

4.学習の手引き

使用教材	教科書 未来へ広がるサイエンス 1 啓林館 副教材 理科ノート 正進社 理科の学習 浜島書店	もちもの	教科書 理科ノート iPad
学習方法	学 校	○学習課題をしっかりとらえ、授業や実験に積極的に取り組もう。 ○わからないところは、先生に質問したり、友だちに聞いたりして、必ず克服しよう。 ○ノートやレポートは、自分の考えや学習結果などを丁寧にわかりやすく、自分の言葉で書こう。 ○自主勉強などを通して、家庭学習は毎日こつこつやっていこう。 ○授業や実験には、集中して積極的に取り組もう。	
	家 庭	○授業があった日は、教科書、ノートを中心に復習しよう。 ○ワークなどを利用して問題を解く練習をしながら、確実に知識を身につけていこう。	

5. 年間計画

月	単元名	内容
4	序章 自然の中にあふれる生命	1 身のまわりの生物の観察 2 生物のなかま分けのしかた
5	いろいろな生物とその共通点 1章 植物の特徴と分類	1 花のつくり 2 子葉, 葉, 根のつくり 3 種子をつくらない植物 4 植物の分類
6	2章 動物の特徴と分類	1 動物の体のつくりと生活 2 背骨のある動物 3 背骨のない動物 4 動物の分類
7	身のまわりの物質 1章 いろいろな物質とその性質	1 物質の区別 2 重さ・体積と物質の区別
9	2章 いろいろな気体とその性質 3章 水溶液の性質	1 気体の区別 2 身のまわりのものから発生した気体の区別 1 物質のとけ方 2 濃さの表し方 3 溶質のとり出し方
10	4章 物質のすがたとその変化	1 物質のすがたの変化 2 状態変化と温度 3 混合物の分け方
11	光・音・力による現象 1章 光による現象	1 光の進み方 2 光が通りぬけるときのようす 3 レンズのはたらき
12	2章 音による現象 3章 力による現象	1 音の伝わり方 2 音の大小と高低 1 力のはたらき 2 力の大きさのはかり方 3 重さと質量 4 力の表し方
1	1	5 1つの物体に2つの力がはたらくとき
2	活きている地球 1章 身近な大地 2章 ゆれる大地	1 身近な大地の変化 2 地域の大地の観察 1 ゆれの発生と伝わり方 2 ゆれの大きさ 3 日本列島の地震
3	3章 火をふく大地 4章 語る大地	1 火山の噴火 2 マグマの性質と火山 3 マグマからできた岩石 4 日本列島の火山 1 地層のでき方 2 地層の岩石 3 地層・化石と大地の歴史 4 大地の恵みと災害

2025年度 飯南中学校 第2学年【教科:理科】シラバス

1.教科の目標

自然の事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、自然の事物・現象を科学的に探究するために必要な資質、能力を次の通り育成することを目指す。

2.評価の観点と内容

	観点	内容
①	理科学事象への知識・技能	自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けることができる。
②	理科学的な思考・判断・表現力	観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養うことができる。
③	主体的に学習に取り組む態度	自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養うことができる。

3.評価方法

ノート、ワーク（授業内容がまとめられているか。自主的に問題を解き、答え合わせや訂正ができているか。）
 定期テスト（観点別の内容に沿って、どこまで到達しているか。）
 授業中の態度（授業内容をしっかりと考えているか。粘り強く学ぼうとしているか。実験への姿勢。）
 観察、実験における結果のまとめ、考察（正しい結果が得られているか、結果から考察を行っているか。）
 ふりかえり（授業で大切なことは何か考えまとめているか。疑問をみつけ調べるなど意欲が見られるか。）

4.学習の手引き

使用教材	教科書 未来へ広がるサイエンス 2 啓林館 副教材 理科ノート 正進社 グラフィック理科資料集 新学社 理科の学習 浜島書店	もちもの 教科書 理科ノート 理科資料集 iPad
学習方法	学 校 ○学習課題をしっかりとらえ、授業や実験に積極的に取り組もう。 ○わからないところは、先生に質問したり、友だちに聞いたりして、必ず克服しよう。 ○ノートやレポートは、自分の考えや学習結果などを丁寧にわかりやすく、自分の言葉で書こう。 ○自主勉強などを通して、家庭学習は毎日こつこつやっていこう。 ○授業や実験には、集中して積極的に取り組もう。	家 庭 ○授業があった日は、教科書、ノートを中心に復習しよう。 ○ワークなどを利用して問題を解く練習をしながら、確実に知識を身につけていこう。

5. 年間計画

月	単元名	内容
4	化学変化と原子・分子 1章 物質の成り立ち	1 物質を加熱したときの変化 2 水溶液に電流を流したときの変化 3 物質のもとになる粒子
5	2章 物質の表し方	4 原子が結びついてできる粒子 1 物質を表す記号 2 物質を表す式 3 化学変化を表す式
6	3章 さまざまな化学変化	1 物質どうしが結びつく変化 2 物質が酸素と結びつく変化 3 酸化物から酸素をとり除く変化 4 化学変化と熱の出入り
7	4章 化学変化と物質の質量	1 化学変化の前後での物質の質量 2 反応する物質どうしの質量の割合
9	生物の体のつくりとはたらき 1章 生物の体をつくるもの	1 生物の体の成り立ち 2 細胞のつくり 3 細胞のはたらき
10	2章 植物の体のつくりとはたらき	1 栄養分をつくる 2 植物の呼吸 3 水や栄養分を運ぶ
11	3章 動物の体のつくりとはたらき	1 栄養分をとり入れる 2 動物の呼吸 3 不要な物質のゆくえ 4 物質を運ぶ
12	4章 動物の行動のしくみ	1 感じ取るしくみ 2 刺激を伝えたり反応したりするしくみ 3 運動のしくみ
1	地球の大気と天気の変化 1章 地球をとり巻く大気のようにす	1 大気の中ではたらく力 2 大気のようにすを観測する
2	2章 空気中の水の変化	1 霧のでき方 2 雲のでき方 3 空気にふくまれる水蒸気の数
3	3章 天気の変化と大気の動き	1 風がふくしくみ 2 大気の動きによる天気の変化 3 地球規模での大気の動き
4	4章 大気の動きと日本の四季	1 日本の季節による天気の特徴をもたらしもの 2 日本の四季の天気 3 天気の変化がもたらす恵みと災害
5	電流とその利用 1章 電流の性質	1 電流が流れる道すじ 2 回路に流れる電流 3 回路に加わる電圧 4 電圧と電流の関係 5 電流、電圧、電気抵抗の求め方 6 電流のはたらきを表す量
6	2章 電流の正体	1 静電気 2 静電気と電流の関係 3 電流の正体 4 放射線の発見とその利用
7	3章 電流と磁界	1 磁界 2 モーターのしくみ 3 発電機のしくみ

2025年度 飯南中学校 第3学年【教科:理科】シラバス

1.教科の目標

自然の事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、自然の事物・現象を科学的に探究するために必要な資質、能力を次の通り育成することを目指す。

2.評価の観点と内容

	観点	内容
①	理科学事象への知識・技能	自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けることができる。
②	理科学的な思考・判断・表現力	観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養うことができる。
③	主体的に学習に取り組む態度	自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養うことができる。

3.評価方法

ノート、ワーク（授業内容がまとめられているか。自主的に問題を解き、答え合わせや訂正ができているか。）
 定期テスト（観点別の内容に沿って、どこまで到達しているか。）
 授業中の態度（授業内容をしっかりと考えているか。粘り強く学ぼうとしているか。実験への姿勢。）
 観察、実験における結果のまとめ、考察（正しい結果が得られているか、結果から考察を行っているか。）
 ふりかえり（授業で大切なことは何か考えまとめているか。疑問をみつけ調べるなど意欲が見られるか。）

4.学習の手引き

使用教材	教科書 未来へ広がるサイエンス 3 啓林館 副教材 理科ノート 正進社 グラフィック理科資料集 新学社 理科の学習 浜島書店	もちもの 教科書 理科ノート 理科資料集 iPad
学習方法	学 校 ○学習課題をしっかりとらえ、授業や実験に積極的に取り組もう。 ○わからないところは、先生に質問したり、友だちに聞いたりして、必ず克服しよう。 ○ノートやレポートは、自分の考えや学習結果などを丁寧にわかりやすく、自分の言葉で書こう。 ○自主勉強などを通して、家庭学習は毎日こつこつやっていこう。 ○授業や実験には、集中して積極的に取り組もう。	家 庭 ○授業があった日は、教科書、ノートを中心に復習しよう。 ○ワークなどを利用して問題を解く練習をしながら、確実に知識を身につけていこう。

5. 年間計画

月	単元名	内容
4	生命の連続性 1章 生物のふえ方と成長	1 生物のふえ方 2 細胞のふえ方
5	2章 遺伝の規則性と遺伝子	1 親の特徴の伝わり方 2 遺伝のしくみ 3 遺伝子の本体
	3章 生物の種類の多様性と進化	1 生物の共通性と多様性 2 進化の証拠 3 生物の移り変わりと進化
6	化学変化とイオン 1章 水溶液とイオン	1 水溶液にすると電流が流れる物質 2 電解質の水溶液に電流が流れたときの変化 3 電気を帯びた粒子の正体
	2章 電池とイオン	1 金属のイオンへのなりやすさ 2 電池のしくみ 3 日常生活と電池
7	3章 酸・アルカリと塩	1 酸性やアルカリ性の水溶液の性質 2 酸性やアルカリ性の性質を決めているもの 3 酸性・アルカリ性の強さ 4 酸とアルカリを混ぜたときの変化 5 イオンで考える中和
9	運動とエネルギー 1章 力の合成と分解	1 水中の物体にはたらく力 2 力の合成 3 力の分解
10	2章 物体の運動	1 運動の表し方 2 水平面上での物体の運動 3 斜面上の物体の運動 4 物体間での力のおよぼし合い
	3章 仕事とエネルギー	1 仕事 2 エネルギー 3 位置エネルギーと運動エネルギー
11	4章 多様なエネルギーとその移り変わり	1 エネルギーの種類 2 エネルギーの変換と保存
	5章 エネルギー資源とその利用	1 生活を支えるエネルギー 2 エネルギー利用上の課題 3 エネルギーの有効利用
12	宇宙を観る 1章 宇宙の天体	1 太陽 2 太陽系 3 宇宙の広がり
	2章 太陽と恒星の動き	1 太陽の動き 2 星座の星の動き
1	3章 月と金星の動きと見え方	1 月の動きと見え方 2 金星の動きと見え方
	自然と人間 1章 自然界のつり合い	1 生物どうしのつながり 2 生態系における生物の数量的関係 3 生物の遺骸のゆくえ 4 生物の活動を通じた物質の循環
2	2章 さまざまな物質の利用と人間	1 天然の物質と人工の物質 2 プラスチック
	3章 科学技術の発展	1 科学技術の発展の歴史 2 現在のくらしとこれからの科学技術
3	4章 人間と環境	1 身近な自然環境の調査 2 自然が人間の生活におよぼす影響 3 人間の活動と自然環境
	5章 持続可能な社会をめざして	1 これからの社会を担う

2025年度 飯南中学校 第 1 学年【教科:音 楽】シラバス

1.教科の目標

○表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。	
1.	曲想と音楽の構造や背景などとの関わり、及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身につけるようにする。（知識及び技能）
2.	音楽表現を創意工夫することや、音楽の良さや美しさを味わって聴くことができるようにする。（思考・判断・表現）
3.	音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽を愛好する心情を育むとともに、音楽に対する感性を豊かにし、音楽に親しんでいく態度を養い、豊かな情操を培う。（学びに向かう力、人間性等）

2.評価の観点と内容

	観点	内容
①	知識、技能	・曲想と音楽の構造などの関わり及び音楽の多様性について理解している ・創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作で表している。
②	思考、判断、表現	音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関りについて考え、どのように表すかについて思いや意図をもったり、音楽を自分なりに評価しながらよさや美しさを味わって聴いたりしている。
③	主体的に取り組む態度	音や音楽、音楽文化に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的・協同的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。

3.評価方法

①	日常の表現活動。実技テスト。定期テスト。ワークの記述。
②	日常の表現活動。実技テスト。定期テスト。ワークの記述。鑑賞ワーク。
③	授業中の活動状況。授業の準備状況。提出物。授業のまとめと振り返りの記述。

4.学習の手引き

使用教材	教科書 中学生の音楽 1 中学生の器楽 合唱曲集 コーラスフェスティバル ワーク アルトリコーダー ICT機器 ※学校で1人1台用意します。	もちもの 教科書（中学の音楽1・器楽） コーラスフェスティバル（合唱曲集） ファイル アルトリコーダー ワーク 筆箱
学習方法	○楽譜を理解するため知識や音楽用語について、しっかり学びましょう。 ・楽譜や音楽の記号・用語は音楽を共通理解するためのツールです。しっかり学習し音楽活動の基礎固めをしましょう。板書されたことや気付いたことなど、工夫してまとめましょう。 ○歌唱や楽器演奏などの活動に意欲的に取り組みましょう。 ・苦手意識や恥ずかしさで、実技活動に消極的では力を伸ばすチャンスを失ってしまいます。積極的に練習しましょう。 ○仲間と一緒に高め合いましょう。 ・他の人の歌唱や楽器演奏の良いところを取り入れたりして、お互いの音楽力を伸ばしていきましょう。 ○鑑賞においてはその曲の歴史的背景、文化、作曲者の意図をくみ取り聴きましょう。 ○ワークは授業を受けたところを組み、丸つけまでしておきましょう。 ○提出物の期限は必ず守りましょう。 ○準備物を整え、授業開始までに席につきましょう。	
家庭	○基礎知識の復讐をして理解を定着させましょう。 ○家庭や学校外でも様々な音楽に触れる機会を持ちましょう。	

5. 年間計画

月	単元名	内容
4	オリエンテーション 校歌 Well Find The Way～はるかな道へ	歌唱
5	音楽の約束 校歌テスト Lesson1『喜びの歌』 『春』	楽典 歌唱テスト アルトリコーダー 鑑賞
6	主人は冷たい土の中に 『魔王』 音楽の約束 Lesson1『かっこう』	歌唱 鑑賞 楽典 アルトリコーダー
7	浜辺の歌 ～合唱フェスティバルに向けて～ 合唱フェスティバルの合唱曲の選曲	歌唱 合唱
9	合唱フェスティバルの取り組み	
10	「合唱フェスティバル合唱曲」	
11	「合唱フェスティバル合唱曲」 合唱フェスティバルの反省 『聖者の行進』アーティキュレーション	アルトリコーダー
12	雅楽「平調 越天楽」 ～式歌への取り組み～ 赤とんぼ 歌唱テスト	鑑賞 歌唱 歌唱テスト
1	リコーダーテスト 旅立ちの日に 卒業式合唱曲 式歌「旅立ちの日に」	リコーダーテスト 合唱 合唱 合唱
2	卒業式合唱曲	合唱
3	器楽 箏 『六段の調べ』 1年間の復讐	箏 鑑賞

※定期テストの予定

- ・前期期末テスト
- ・後期期末テスト

2025年度 飯南中学校 第 2 学年【教科:音 楽】シラバス

1.教科の目標

○表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
1. 曲想と音楽の構造や背景などとの関わり、及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身につけるようにする。（知識及び技能）
2. 音楽表現を創意工夫することや、音楽の良さや美しさを味わって聴くことができるようにする。（思考・判断・表現）
3. 音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽を愛好する心情を育むとともに、音楽に対する感性を豊かにし、音楽に親しんでいく態度を養い、豊かな情操を培う。（学びに向かう力、人間性等）

2.評価の観点と内容

	観点	内容
①	知識、技能	・曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解している ・創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作で表している。
②	思考、判断、表現	音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したものと感受したこととの関りについて考え、曲にふさわしい音楽表現としてどのように表すかについて思いや意図をもったり、音楽を自分なりに評価しながらよさや美しさを味わって聴いたりしている。
③	主体的に取り組む態度	音や音楽、音楽文化に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的・協同的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。

3.評価方法

①日常の表現活動。実技テスト。定期テスト。ワークの記述。
②日常の表現活動。実技テスト。定期テスト。ワークの記述。鑑賞ワーク。
③授業中の活動状況。授業の準備状況。提出物。授業のまとめと振り返りの記述。

4.学習の手引き

使用教材	教科書 中学生の音楽 2. 3 上 中学生の器楽 合唱曲集 マイソング ワーク アルトリコーダー ICT機器 ※学校で1人1台用意します。	もちもの 教科書（中学の音楽2.3上・器楽） コーラスフェスティバル（合唱曲集） ファイル の アルトリコーダー ワーク 筆箱
学習方法	○楽譜を理解するため知識や音楽用語について、しっかり学びましょう。 ・楽譜や音楽の記号・用語は音楽を共通理解するためのツールです。しっかり学習し音楽活動の基礎固めをしましょう。板書されたことや気付いたことなど、工夫してまとめましょう。 ○歌唱や楽器演奏などの活動に意欲的に取り組みましょう。 ・苦手意識や恥ずかしさで、実技活動に消極的では力を伸ばすチャンスを失ってしまいます。積極的に練習しましょう。 ○仲間と一緒に高め合いましょう。 ・他の人の歌唱や楽器演奏の良いところを取り入れたりして、お互いの音楽力を伸ばしていきましょう。 ○鑑賞においてはその曲の歴史的背景、文化、作曲者の意図をくみ取り聴きましょう。 ○ワークは授業を受けたところを組み、丸つけまでしておきましょう。 ○提出物の期限は必ず守りましょう。 ○準備物を整え、授業開始までに席につきましょう。	
家庭	○基礎知識の復讐をして理解を定着させましょう。 ○家庭や学校外でも様々な音楽に触れる機会を持ちましょう。	

5. 年間計画

月	単元名	内容
4	オリエンテーション 校歌 翼をください	歌唱 歌唱
5	夏の思い出 Lesson2 フーガ ト短調	歌唱 アルトリコーダー 鑑賞
6	Lesson2 夏の思い出 歌唱テスト 交響曲第5番	アルトリコーダー 歌唱 鑑賞
7	「カノン2」リコーダーテスト ～合唱フェスティバルに向けて～ 合唱フェスティバル合唱曲の選曲	アルトリコーダー 合唱
9	合唱フェスティバルの取り組み 「合唱フェスティバル合唱曲」	
10	「合唱フェスティバル合唱曲」	
11	「合唱フェスティバル合唱曲」 合唱フェスティバルの反省 荒城の月 オーラリー	合唱 歌唱 アルトリコーダー
12	歌唱テスト リコーダーテスト オペラ「アイーダ」	歌唱テスト リコーダーテスト 鑑賞
1	～式歌への取り組み～ 旅立ちの日に 卒業式合唱曲	合唱
2	式歌 卒業式合唱曲 式歌「旅立ちの日に」	合唱 合唱 合唱
3	卒業式合唱曲 歌舞伎「勧進帳」 1年間の復習	合唱 鑑賞

※定期テストの予定

- ・前期期末テスト
- ・後期期末テスト

2025年度 飯南中学校 第 3 学年【教科:音 楽】シラバス

1.教科の目標

○表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

1. 曲想と音楽の構造や背景などとの関わり、及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身につけるようにする。（知識及び技能）
2. 音楽表現を創意工夫することや、音楽の良さや美しさを味わって聴くことができるようにする。（思考・判断・表現）
3. 音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽を愛好する心情を育むとともに、音楽に対する感性を豊かにし、音楽に親しんでいく態度を養い、豊かな情操を培う。（学びに向かう力、人間性等）

2.評価の観点と内容

	観点	内容
②	知識、技能	・曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解している ・創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作で表している。
②	思考、判断、表現	音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したものと感受したこととの関りについて考え、曲にふさわしい音楽表現としてどのように表すかについて思いや意図をもったり、音楽を自分なりに評価しながらよさや美しさを味わって聴いたりしている。
③	主体的に取り組む態度	音や音楽、音楽文化に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的・協同的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。

3.評価方法

- ①日常の表現活動。実技テスト。定期テスト。ワークの記述。
- ②日常の表現活動。実技テスト。定期テスト。ワークの記述。鑑賞ワーク。
- ③授業中の活動状況。授業の準備状況。提出物。授業のまとめと振り返りの記述。

4.学習の手引き

使用教材	教科書 中学生の音楽 2.3下(2.3上) 中学生の器楽 合唱曲集 マイソング ワーク アルトリコーダー ICT機器 ※学校で1人1台用意します。	もちもの 教科書（中学の音楽2.3下・器楽） マイソング（合唱曲集） ファイル アルトリコーダー ワーク 筆箱
学習方法	○楽譜を理解するため知識や音楽用語について、しっかり学びましょう。 ・楽譜や音楽の記号・用語は音楽を共通理解するためのツールです。しっかり学習し音楽活動の基礎固めをしましょう。板書されたことや気付いたことなど、工夫してまとめましょう。 ○歌唱や楽器演奏などの活動に意欲的に取り組みましょう。 ・苦手意識や恥ずかしさで、実技活動に消極的では力を伸ばすチャンスを失ってしまいます。積極的に練習しましょう。 ○仲間と一緒に高め合いましょう。 ・他の人の歌唱や楽器演奏の良いところを取り入れたりして、お互いの音楽力を伸ばしていきましょう。 ○鑑賞においてはその曲の歴史的背景、文化、作曲者の意図をくみ取り聴きましょう。 ○ワークは授業を受けたところを組み、丸つけまでしておきましょう。 ○提出物の期限は必ず守りましょう。 ○準備物を整え、授業開始までに席につきましょう。	
家庭	○基礎知識の復讐をして理解を定着させましょう。 ○家庭や学校外でも様々な音楽に触れる機会を持ちましょう。	

5. 年間計画

月	単元名	内容
4	オリエンテーション 校歌 花	歌唱 歌唱
5	花 歌唱テスト 帰れソレントへ アニーローリー 『ブルタバ（モルダウ）』	歌唱テスト 歌唱 アルトリコーダー 鑑賞
6	ふるさと アニーローリー リコーダーテスト	合唱 アルトリコーダー リコーダーテスト
7	～合唱フェスティバルに向けて～ 合唱フェスティバル合唱曲の選曲 合唱フェスティバルの取り組み	合唱
9	前期期末試験 『ボレロ』	鑑賞
10	「合唱フェスティバル合唱曲」	合唱
11	合唱フェスティバル合唱曲 後期中間試験	
12	合唱フェスティバル反省 ギター	器楽ギター 鑑賞
1	尺八楽『巢鶴鈴慕』 式歌	合唱 合唱
2	卒業式合唱曲 式歌	合唱 合唱
3	卒業式合唱 式歌 卒業式	合唱 合唱

2025年度 飯南中学校 第1学年【教科：美術】シラバス

1.教科の目標

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わる資質・能力を育成することを目指す。

2.評価の観点と内容

	観点	内容
①	美術についての知識・技能	対象や事象を捉える造形的な視点について理解している。 表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができる。
②	造形的な思考・判断・表現	造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考えるとともに、主題を生み出し豊かに発想し、構想を練ったり美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。
③	主体的に学習に取り組む態度	美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に表現及び鑑賞の幅広い学習活動に取り組もうとしている。

3.評価方法

- ①作品。定期テスト。
②作品。定期テスト。
③作品。授業の準備物。提出物。授業態度。

4.学習の手引き

使用教材	教科書 美術 1 副教材 レタリング字典 感じる表す美術 図案資料集 ICT機器 ※学校で1人1台用意します。	もちもの 教科書 副教材 スケッチブック その他、制作に必要なもの (教材に応じて授業等で連絡します)
学習方法	学 校 ・準備（用具、作品に必要な材料集め、課題等）をきちんとしよう。 ・授業の準備物を忘れないようにしよう。 ・始業チャイムまでに用具の準備を済ませておこう。 ・表現したいことを明確にし、創意工夫して表現しよう。 ・実習時は安全に注意し、しっかり集中して制作に取り組もう。 ・実習時は自分の用具を整理整頓し、終了時は周囲の後片付けもきちんとしよう。 ・制作にしっかり集中して取り組み、丁寧な作品作りを心がけよう。 家 庭 ・作品制作に関しての準備や予習をしよう。 ・定期テストに向けてしっかり学習しよう。	

5. 年間計画（1年）

月	単元名	内容
4	オリエンテーション	美術との出会い（人に伝える美術）
	見つめると見えてくるもの	「スケッチ」 ・鉛筆の使い方 ・明暗を表す ・「アイコン」としての絵の働き
5	○文字の基本	・書体 ・レタリング
	○色彩の仕組み	・明度、彩度、色相
6	○文字が生み出すイメージ	「絵文字制作」 ・アイデアスケッチ ・着彩
7		・作品鑑賞
	○鑑賞との出会い	・近代の絵画作品 ・作品を取り巻く背景 ・自分の中の感性と名画の鑑賞
9	前期末テスト	
		らしの中の木の工芸 ・木工製品
9	デザイン・工芸領域	
10	○なぜか気になる情景	「風景画制作」 ・アイデアスケッチ ・着彩
11	○立体を見る、描く	「デッサン」 ・スケッチとの違い ・見ることの大切さ
12	○見つめて感じて描いて	「粘土制作」 ・デッサンを元に自分のこぶしを作る
	デザイン・工芸領域	・握り方や力強さの表し方
I		・思いを込めた形作り
2	学年末テスト	
3	デザイン工芸領域	つなげて広がる模様の世界

2025年度 飯南中学校 第2学年【教科：美術】シラバス

1.教科の目標

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わる資質・能力を育成することを目指す。

2.評価の観点と内容

	観点	内容
①	美術についての知識・技能	対象や事象を捉える造形的な視点について理解している。 表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができる。
②	造形的な思考・判断・表現	造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考えるとともに、主題を生み出し豊かに発想し、構想を練ったり美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。
③	主体的に学習に取り組む態度	美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に表現及び鑑賞の幅広い学習活動に取り組もうとしている。

3.評価方法

- ①作品。定期テスト。
②作品。定期テスト。
③作品。授業の準備物。提出物。授業態度。

4.学習の手引き

使用教材	教科書 美術2・3上 副教材 レタリング字典 感じる表す美術 図案資料集 ICT機器 ※学校で1人1台用意します。	もちもの 教科書 副教材 スケッチブック その他、制作に必要なもの (教材に応じて授業等で連絡します)
学習方法	学 校 ・準備（用具、作品に必要な材料集め、課題等）をきちんとしよう。 ・授業の準備物を忘れないようにしよう。 ・始業チャイムまでに用具の準備を済ませておこう。 ・表現したいことを明確にし、創意工夫して表現しよう。 ・実習時は安全に注意し、しっかり集中して制作に取り組もう。 ・実習時は自分の用具を整理整頓し、終了時は周囲の後片付けもきちんとしよう。 ・制作にしっかり集中して取り組み、丁寧な作品作りを心がけよう。 家庭 ・作品制作に関しての準備や予習をしよう。 ・定期テストに向けてしっかり学習しよう。	

5. 年間計画（2年）

月	単元名	内容
4	オリエンテーション	美術との出会い（人に伝える美術）
	○イメージを形にすると	・言葉と形の関係 ・構成美の要素 ・色のトーンと感情
5	○空想の中の不思議な世界	「平面構成で自分の思いをあらわす」 ・アイデアスケッチ ・制作 ・着彩 ・作品鑑賞
6	○芸術はみんなのもの 鑑賞	「岡本太郎とパブリックアート」 ・万博など時代背景
7	○遠近法を表す	・表現するとは何か ・作品鑑賞 「遠近法」
9	前期末テスト	・一点透視図法 ・二点透視図法
10	○その一枚が心を動かす	「遠近法を使った作品制作」 ・アイデアスケッチ ・着彩
11	○抽象絵画の美しさ	・作品鑑賞 ・抽象表現とは何か ・抽象絵画、抽象彫刻から美しさを読む ・作品鑑賞
12	○あなたのイメージを探そう	「思いを形に」 ・抽象彫刻 ・粘土制作
1		・鑑賞
2	学年末テスト	
3	デザイン・工芸領域	つなげて広がる模様の世界

2025年度 飯南中学校 第3学年【教科：美術】シラバス

1.教科の目標

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わる資質・能力を育成することを目指す。

2.評価の観点と内容

	観点	内容
①	美術についての知識・技能	対象や事象を捉える造形的な視点について理解している。 表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができる。
②	造形的な思考・判断・表現	造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考えるとともに、主題を生み出し豊かに発想し、構想を練ったり美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。
③	主体的に学習に取り組む態度	美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に表現及び鑑賞の幅広い学習活動に取り組もうとしている。

3.評価方法

- ①作品。定期テスト。
②作品。定期テスト。
③作品。授業の準備物。提出物。授業態度。

4.学習の手引き

使用教材	教科書 美術2・3下 副教材 レタリング字典 感じる表す美術 図案資料集 ICT機器 ※学校で1人1台用意します。	もちもの 教科書 副教材 スケッチブック その他、制作に必要なもの (教材に応じて授業等で連絡します)
学習方法	学 校 ・準備（用具、作品に必要な材料集め、課題等）をきちんとしよう。 ・授業の準備物を忘れないようにしよう。 ・始業チャイムまでに用具の準備を済ませておこう。 ・表現したいことを明確にし、創意工夫して表現しよう。 ・実習時は安全に注意し、しっかり集中して制作に取り組もう。 ・実習時は自分の用具を整理整頓し、終了時は周囲の後片付けもきちんとしよう。 ・制作にしっかり集中して取り組み、丁寧な作品作りを心がけよう。 家庭 ・作品制作に関しての準備や予習をしよう。 ・定期テストに向けてしっかり学習しよう。	

5. 年間計画（3年）

月	単元名	内容
4	オリエンテーション	美術との出会い（人に伝える美術）
5	○形や色で伝えるシンボルマーク	「ゼンタングル」 ・ パターンの組み合わせから出来上がるマーク 「自分のマーク」 ・ アイデアスケッチ ・ 制作 ・ 着彩 ・ 作品鑑賞
6	○空想の中の不思議な世界	「シュールレアリスム」 ・ 名画鑑賞 ・ 感想 ・ 作品鑑賞
7	○屏風、美のしかけ	「構図の美しさ、空間演出」 ・ 構図の研究 ・ 建具としての機能や空間演出
9	前期末テスト	・ アイデアスケッチ ・ 制作
10	○屏風 美のしかけ	「屏風 作品完成」 ・ 作品鑑賞
11	○あの目を忘れない	「ピカソの魅力『ゲルニカ』」 ・ 美術の力を考える ・ モチーフや組み合わせで伝わること ・ 作品鑑賞
12	後期中間テスト	
1	○空間を彩る光の装飾	「ライトスクラッチ」 ・ アイデアスケッチ
2		・ 制作
3		・ 作品鑑賞

2025年度 飯南中学校 第 1 学年【教科:保健体育】シラバス

1.教科の目標

体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力を育成することを目指す。

2.評価の観点と内容

	観点	内容
①	知識・技能	運動の特性に応じた技能が身についているか、及び個人生活における健康・安全について理解することができる。
②	思考・判断・表現	運動や健康についての課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えている。 学習した単元について、「単元レポート」をまとめることができる。
③	主体的に学習に取り組む態度	運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かな生活を営もうとしている。

3.評価方法

【授業態度】話を聴く態度がとれているか。積極性があるか。自ら楽しめているか。協調性があるか。
【実技テスト】各単元の技術がどこまで到達しているか。
【期末テスト】各単元の知識がどこまで到達しているか。
【保健ワーク・ノート】しっかり解答し、提出日までに出されているか。
【単元レポート】内容が的を得てしっかり書かれているか。
【振り返り】毎日の振り返りがしっかり書かれているか。

4.学習の手引き

使用教材	教科書 中学保健体育（学研） 副教材 ワンダフルスポーツ（新学社） 中学保体資料ノート iPad	もちもの 教科書・保体資料ノート ワンダフルスポーツ・筆記用具 体育館シューズ
学習方法	○自分やグループの目標や課題を持って授業に取り組もう。 ○個人の記録や課題、感想をワークシートや振り返りカードに記録していこう。 ○最初からできないと決めつけず、いろいろなことに積極的に挑戦しよう。 ○チームや仲間同士で協力したり、教えあうことを大切にしよう。 ○ルールや試合方法について理解し、積極的に取り組もう。 ○どうすれば体力や技術が向上するかを考えながら練習やゲームに取り組もう。 ○先生の話や仲間からのアドバイスをしっかり聞いて理解しよう。 ○資料や知識を基にして意欲的な態度でいろいろな問題や課題に取り組もう。	

5. 年間計画

月	実技	保健
4	○集団行動 ○体づくり運動 ○新体力テスト・体育理論	
5	○陸上競技（短距離走・リレー） （スポーツフェスティバルの練習含む）	
6	○球技（バレーボール）	
7		○スポーツの多様性 ○健康な生活と病気の予防① ※「健康な生活と病気の予防」は3年間にわたって学習します
9	○器械運動（マット運動）	
10	○球技（ソフトボール）	
11	○武道（剣道）	
	○球技（バドミントン）	
12	○陸上競技（持久走） ○球技（サッカー）	
1		○心身の発達と心の健康
2	○球技（バスケットボール） ○ダンス ダンス発表会	
3		

2025年度 飯南中学校 第 2 学年【教科:保健体育】シラバス

1.教科の目標

体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力を育成することを目指す。

2.評価の観点と内容

	観点	内容
①	知識・技能	運動の特性に応じた技能が身についているか、及び個人生活における健康・安全について理解することができる。
②	思考・判断・表現	運動や健康についての課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えている。 学習した単元について、「単元レポート」をまとめることができる。
③	主体的に学習に取り組む態度	運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かな生活を営もうとしている。

3.評価方法

- 【授業態度】話を聴く態度がとれているか。積極性があるか。自ら楽しめているか。協調性があるか。
- 【実技テスト】各単元の技術がどこまで到達しているか。
- 【期末テスト】各単元の知識がどこまで到達しているか。
- 【保健ワーク・ノート】しっかり解答し、提出日までに出されているか。
- 【単元レポート】内容が的を得てしっかり書かれているか。
- 【振り返り】毎日の振り返りがしっかり書かれているか。

4.学習の手引き

使用教材	教科書 中学保健体育（学研） 副教材 ワンダフルスポーツ（新学社） 中学保体資料ノート iPad	もちもの 教科書・保体資料ノート ワンダフルスポーツ・筆記用具 体育館シューズ
学習方法	○自分やグループの目標や課題を持って授業に取り組もう。 ○個人の記録や課題、感想をワークシートや振り返りカードに記録していこう。 ○最初からできないと決めつけず、いろいろなことに積極的に挑戦しよう。 ○チームや仲間同士で協力したり、教えあうことを大切にしよう。 ○ルールや試合方法について理解し、積極的に取り組もう。 ○どうすれば体力や技術が向上するかを考えながら練習やゲームに取り組もう。 ○先生の話や仲間からのアドバイスをしっかり聞いて理解しよう。 ○資料や知識を基にして意欲的な態度でいろいろな問題や課題に取り組もう。	

5. 年間計画

月	実技	保健
4	○集団行動 ○体づくり運動 ○体力テスト・体育理論	○スポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方 ○健康な生活と病気の予防② ※「健康な生活と病気の予防」は3年間にわたって学習します
5	○陸上競技（短距離走・リレー） （スポーツフェスティバルの練習含む）	
6	○球技（バレーボール）	
7		
9	○器械運動（マット運動）	
10	○球技（ソフトボール）	
11	○武道（剣道） ○球技（バドミントン）	
12	○陸上競技（持久走） ○球技（サッカー）	
1		
2	○球技（バスケットボール） ○ダンス ダンス発表会	
3		
		○傷害の防止

2025年度 飯南中学校 第 3 学年【教科:保健体育】シラバス

1.教科の目標

体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力を育成することを目指す。

2.評価の観点と内容

	観点	内容
①	知識・技能	運動の特性に応じた技能が身についているか、及び個人生活における健康・安全について理解することができる。
②	思考・判断・表現	運動や健康についての課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えている。 学習した単元について、「単元レポート」をまとめることができる。
③	主体的に学習に取り組む態度	運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かな生活を営もうとしている。

3.評価方法

【授業態度】話を聴く態度がとれているか。積極性があるか。自ら楽しめているか。協調性があるか。
 【実技テスト】各単元の技術がどこまで到達しているか。
 【期末テスト】各単元の知識がどこまで到達しているか。
 【保健ワーク・ノート】しっかり解答し、提出日までに出されているか。
 【単元レポート】内容が的を得てしっかり書かれているか。
 【振り返り】毎日の振り返りがしっかり書かれているか。

4.学習の手引き

使用教材	教科書 中学保健体育（学研） 副教材 ワンダフルスポーツ（新学社） 中学保健資料ノート iPad	もちもの 教科書・保体資料ノート ワンダフルスポーツ・筆記用具 体育館シューズ
学習方法	○自分やグループの目標や課題を持って授業に取り組もう。 ○個人の記録や課題、感想をワークシートや振り返りカードに記録していこう。 ○最初からできないと決めつけず、いろいろなことに積極的に挑戦しよう。 ○チームや仲間同士で協力したり、教えあうことを大切にしよう。 ○ルールや試合方法について理解し、積極的に取り組もう。 ○どうすれば体力や技術が向上するかを考えながら練習やゲームに取り組もう。 ○先生の話や仲間からのアドバイスをしっかり聞いて理解しよう。 ○資料や知識を基にして意欲的な態度でいろいろな問題や課題に取り組もう。	

5. 年間計画

月	実技	保健
4	○集団行動 ○体づくり運動 ○体力テスト・体育理論	○文化としてのスポーツ ○健康な生活と病気の予防③ ※「健康な生活と病気の予防」は 3 年間にわたって学習します
5	○陸上競技（短距離走・リレー） （スポーツフェスティバルの練習含む）	
6	○球技（バレーボール）	
7		
9	○器械運動（マット運動）	
10	○球技（ソフトボール）	
11	○武道（剣道） ○球技（バドミントン）	
12	○陸上競技（持久走） ○球技（サッカー）	
1		
2	○球技（バスケットボール） ○ダンス ダンス発表会	
3		

技術・家庭科（技術分野）の学習のすすめ方（第1学年）

1. 教科の目標

- ◎材料と加工、エネルギー変換、生物育成、情報に関する基礎的・基本的な知識や技術を駆使して、課題解決のポイントを見極めながら活動しよう。
- ◎社会や環境の中の技術について、そのかわりや意義について理解を深めよう。

A 材料と加工に関する技術

- 生活や産業の中で、「技術」がどんな役割をしているか考えよう。
- 製作するとき、設計（材料のことや機能のことなど）をよく考えよう。
- 製作するとき、工具や機器を適切に使えるようになろう。
- 木材等を活用した製品の製作ができるようになろう。

B エネルギー変化に関する技術

- エネルギーの変換や力の伝達の仕組みを知ろう。
- 機器の基本的な仕組みを知り、保守点検と事故防止ができるようになろう。
- 作品製作を通して、組立て・調整や電気回路の配線・点検ができるようになろう。

C 生物育成に関する技術

- 生物の育成に適する条件と生物の育成環境を管理する方法を知ろう。
- 生物の栽培・育成の実習を通して、生物の育成計画を立て、生物の栽培又は飼育ができるようになろう。

D 情報に関する技術

- コンピュータの基本的な構成を知り、操作ができるようになろう。
- 著作権や発信した情報に対する責任など、情報モラルについて考えよう。
- デジタル作品の制作を通して、ソフトウェアを使えるようになろう。
- コンピュータを利用した計測・制御の仕組みを知り、プログラムが作れるようになろう。

2. 学習の手引き

使用教材	教科書 技術・家庭《技術分野》（東京書籍） 副教材 技術・家庭ハンドノート（正進社） 木材加工材料	もちもの	教科書、副教材、ファイル
学習の進めかた	《確かな学力を身につけるには》 ○学習課題をしっかりとらえ、前向きにとりくみましょう。 ○わからないところ、できないところを明確にして、学習・製作をしましょう。 ○何事にもじっくり考えて、自分にできる精一杯の工夫をしましょう。 ○できるようになったこと。自分の成長したことに自信を持ちましょう。 ○作品づくりにおいては、ていねいに製作に取り組みましょう。 《家庭学習》 ○家庭での仕事を手伝うこと。 - 特に夏休み等の長期の休みに、家族の一員としていろいろな家庭での仕事を手伝うこと。 《定期テスト》 ○範囲は、テスト発表時に通知します。 ○授業中に学習したことをしっかり復習しておきましょう。		
学習上の注意等	○製作においては、目的と方法を理解し、工夫して、ていねいに製作に取り組みましょう。 ○製作においては、ケガをしないように、十分注意しましょう。 ○完成したすべての作品をていねいに、また大切に扱きましょう。 ○コンピュータ機器をていねいに扱きましょう。 ○技術室の機械・工具を安全に使いましょう。		

3. 年間計画と評価の観点・内容

学 習 計 画				評価にあたって					
学期	月	単 元 計 画	試験	評 価 観 点		評価の場面・方法			
前 期	4	◎生活や社会における技術の役割 ◎材料と加工に関する技術 ○ものづくりの視点と進め方 ○材料○設計 ○木材による製作 ○金属・プラスチックによる製作 ○材料と加工に関する技術の評価・活用 ○製作・実習	期末	主 体 的 に 学 習 に 取 組 む 態 度	・身近な製作品やコンピュータに興味をもち技術の発達や人間生活への活用を考えようとしたか。またその製作品の材料や構造を考えることができたか。 ・製作に使用する工具や機器を安全に使えたか。	・行動観察、実習態度 ・発表 ・提出物 ・授業プリント			
	5				思 考 判 断 表 現	・製作品に、工夫して材料の特徴を生かしているか。 ・製作品の使用目的にあわせて構造を工夫しているか。 ・製作で、より適切な工具の使い方ができるか。 ・情報技術に関する課題をとらえ比較・検討するなど、適切な解決を見いだしている。	・行動観察、実習態度 ・発表 ・提出物 ・授業プリント ・定期テスト ・製作品		
	6					知 識 ・ 技 能	・加工技術や環境に関係している技術の発達や活用に関する知識を身につけているか。 ・製作品の構造や材料の特徴と利用方法に関する知識を身につけているか。 ・工具や機器の適切で安全な使用について理解しているか ・情報技術のしくみや処理方法を理解することができる。	・定期テスト ・授業プリント ・製作品	
	7						後 期	○情報に関する技術 ○情報と私たちの生活 ○情報通信ネットワークの利用 ○情報通信ネットワークとセキュリティ ○情報モラルと知的財産	期末
	8								
	9								
	10								
	11								
	12								
1									
2									
3									

技術・家庭科（技術分野）の学習のすすめ方（第2学年）

1. 教科の目標

◎作品の製作などの体験的な活動を通して、材料と加工、エネルギー変換、生物育成、情報に関する

基礎的・基本的な知識や技術を習得しよう。

◎技術と社会や環境とのかかわりについて理解を深めよう。

A 材料と加工に関する技術

- 生活や産業の中で、「技術」がどんな役割をしているか考えよう。
- 製作するとき、設計（材料のことや機能のことなど）をよく考えよう。
- 製作するとき、工具や機器を適切に使えるようになろう。
- 木材等を活用した製品の製作ができるようになろう。

B エネルギー変化に関する技術

- エネルギーの変換や力の伝達の仕組みを知ろう。
- 機器の基本的な仕組みを知り、保守点検と事故防止ができるようになろう。
- 作品製作を通して、組立て・調整や電気回路の配線・点検ができるようになろう。

C 生物育成に関する技術

- 生物の育成に適する条件と生物の育成環境を管理する方法を知ろう。
- 生物の栽培・育成の実習を通して、生物の育成計画を立て、生物の栽培又は飼育ができるようになろう。

D 情報に関する技術

- コンピュータの基本的な構成を知り、操作ができるようになろう。
- 著作権や発信した情報に対する責任など、情報モラルについて考えよう。
- デジタル作品の制作を通して、ソフトウェアを使えるようになろう。
- コンピュータを利用した計測・制御の仕組みを知り、プログラムが作れるようになろう。

2. 学習の手引き

使用教材	教科書 技術・家庭《技術分野》（東京書籍） 副教材 技術・家庭ハンドノート（正進社） LEDライト	もちもの	教科書、副教材、ファイル
学習の進めかた	《確かな学力を身につけるには》 ○実習では、結果だけでなく、課題のねらいをよく考えて取り組もう。 ○実習は、作業時間を考えて計画的にすすめよう。 ○自分でできる工夫を積極的にすすめよう。 ○周りの人と相談し、お互いの向上に努めよう。 《家庭学習》 ○家庭での仕事を手伝うこと。 特に夏休み等の長期の休みに、家族の一員としていろいろな家庭での仕事を手伝うこと。 《定期テスト》 ○範囲は、テスト発表時に通知します。 ○授業中に学習したことをしっかり復習しておきましょう。		
学習上の注意等	○製作においては、目的と方法を理解し、工夫して、ていねいに製作に取り組みましょう。 ○製作においては、ケガをしないように、十分注意しましょう。 ○完成したすべての作品をていねいに、また大切に扱きましょう。 ○コンピュータ機器をていねいに扱きましょう。 ○技術室の機械・工具を安全に使いましょう。		

3. 年間計画と評価の観点・内容

学 習 計 画				評価にあたって					
学期	月	単 元 計 画	試験	評 価 観 点		評価の場面・方法			
前 期	4	◎エネルギー変換に関する技術 ○わたしたちの生活とエネルギー変換 ○電気エネルギーの利用 ○動力の利用 ○エネルギー変換の実践 ○製作品の構想と設計・製作 ○エネルギー変換に関する技術の評価・活用	期末	主 体 的 に 学 習 に 取 組 む 態 度	・エネルギーの変換や伝達のしくみやコンピュータに関心をもち、意欲的に学習に取り組もうとしたか。	・行動観察、実習態度 ・発表 ・提出物 ・授業プリント			
	5				・作品の製作に意欲的に取り組もうとしたか。				
	6				・課題を設定し問題解決のための構想を立てることができたか。				
	7			思 考 ・ 判 断 ・ 表 現	・目的の動きにあわせた作品を効率的につくる方法を考えることができたか。	・作品を確実に完成させるための点検の工夫することができたか。	・情報技術に関する課題をとらえ比較・検討するなど、適切な解決を見いだしている。	・行動観察、実習態度 ・発表 ・提出物 ・授業プリント ・定期テスト ・製作品	
	8								
9									
後 期	10			○製作品の製作実習	期末	知 識 ・ 理 解	・どのようなエネルギー変換が行われて、その変換の仕組みを理解している。	・定期テスト ・授業プリント ・製作品	
	11								・電源の種類や特徴を理解している。
	12								・情報技術のしくみや処理方法を理解することができる。
	1	・情報処理の手順についての知識を身につけている。							
	2	・知的財産権を尊重しながらメディアの素材を利用する知識を身につけている。							
3	○プログラミングの基礎								

技術・家庭科（技術分野）の学習のすすめ方（第3学年）

1. 教科の目標

- ◎作品の製作などの体験的な活動を通して、材料と加工、エネルギー変換、生物育成、情報に関する基礎的・基本的な知識や技術を習得しよう。
- ◎技術と社会や環境とのかかわりについて理解を深めよう。

A 材料と加工に関する技術

- 生活や産業の中で、「技術」がどんな役割をしているか考えよう。
- 製作するとき、設計（材料のことや機能のことなど）をよく考えよう。
- 製作するとき、工具や機器を適切に使えるようになるよう。
- 木材等を活用した製品の製作ができるようになるよう。

B エネルギー変化に関する技術

- エネルギーの変換や力の伝達の仕組みを知ろう。
- 機器の基本的な仕組みを知り、保守点検と事故防止ができるようになるよう。
- 作品製作を通して、組立て・調整や電気回路の配線・点検ができるようになるよう。

C 生物育成に関する技術

- 生物の育成に適する条件と生物の育成環境を管理する方法を知ろう。
- 生物の栽培・育成の実習を通して、生物の育成計画を立て、生物の栽培又は飼育ができるようになるよう。

D 情報に関する技術

- コンピュータの基本的な構成を知り、操作ができるようになるよう。
- 著作権や発信した情報に対する責任など、情報モラルについて考えよう。
- デジタル作品の制作を通して、ソフトウェアを使えるようになるよう。
- コンピュータを利用した計測・制御の仕組みを知り、プログラムが作れるようになるよう。

2. 学習の手引き

使用 教材	教科書 技術・家庭《技術分野》（東京書籍） 副教材 技術・家庭総ノート技術分野（正進社） ミニトマト栽培セット	もち もの	教科書、副教材、ファイル
学習の 進め かた	《確かな学力を身につけるには》 ○実習では、結果だけでなく、課題のねらいをよく考えて取り組もう。 ○実習は、作業時間を考えて計画的にすすめよう。 ○自分でできる工夫を積極的にすすめよう。 ○周りの人と相談し、お互いの向上に努めよう。 《家庭学習》 ○家庭での仕事を手伝うこと。 特に夏休み等の長期の休みに、家族の一員としていろいろな家庭での仕事を手伝うこと。 《定期テスト》 ○範囲は、テスト発表時に通知します。 ○授業中に学習したことをしっかり復習しておきましょう。		
学習 上の 注意 等	○製作においては、目的と方法を理解し、工夫して、ていねいに製作に取り組みましょう。 ○製作においては、ケガをしないように、十分注意しましょう。 ○完成したすべての作品をていねいに、また大切に扱きましょう。 ○コンピュータ機器をていねいに扱きましょう。 ○技術室の機械・工具を安全に使いましょう。		

3. 年間計画と評価の観点・内容

学 習 計 画				評価にあたって	
学期	月	単 元 計 画	試験	評 価 観 点	評価の場面・方法
前期	4	オリエンテーション	期末	主体的に学習に取り組む態度	・行動観察 ・発表 ・実習態度 ・定期テスト
	5	◎生物育成に関する技術 ○わたしたちの生活と生物育成			
	6	○生物の育成 ○作物の栽培		思考・判断・表現	・行動観察 ・作品 ・発表 ・定期テスト
	7	○実習			
	8	○動物の飼育 ○水生生物の栽培			
	9	○生物育成に関する技術の評価・活用			
	10	◎情報に関する技術 ○プログラミングの基礎			
	11	○オリジナルWebサイトの制作			
	12	○プログラムによる計測・制御			
後期	1	○情報に関する技術の評価・活用	中間	知識・理解	・作品 ・定期テスト
	2				
	3				

2025年度 飯南中学校 第1学年【教科：家庭】シラバス

1.教科の目標

生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、衣食住などに関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を育成することを目指す。

2.評価の観点と内容

	観点	内容
①	生活や技能についての知識・技能	家族・家庭の基本的な機能について理解を深め、生活の自立に必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて理解しているとともに、それらに係る技能を身に付けている。
②	生活や技能についての思考・判断・表現	これからの生活を展望し、家族・家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。
③	主体的に学習に取り組む態度	家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。

3.評価方法

- ①実習・作品。定期テスト。
 ②実習・作品。ワーク。定期テスト。
 ③実習・作品。授業の準備物。提出物。授業態度。

4.学習の手引き

使用教材	教科書 新しい技術・家庭 家庭分野 副教材 ワーク ICT機器 ※学校で1人1台用意します。	もちもの 教科書 ワーク 裁縫箱（必要時） その他、実習に必要なもの （教材に応じて授業等で連絡します）
学習方法	学 校 ・準備（教科書、ワーク、課題等）をきちんとしよう。 ・授業の準備物を忘れないようにしよう。 ・始業チャイムまでに用具の準備を済ませておこう。 ・先生の説明を集中して聞き、しっかりと授業に取り組もう。 ・実習時は安全に注意し、集中して取り組もう。 ・実習時は自分の用具を整理整頓し、終了時は周囲の後片付けもきちんとしよう。 ・提出物の期限は必ず守ろう。 家 庭 ・定期テストに備えて、普段からしっかり復習をしておこう。 ・ワークは授業を受けたところまでを取り組み、丸つけまでしよう。	

5. 年間計画（1年）

月	単元名	内容
4	家庭分野のガイダンス	・ 家庭分野の見方・考え方
5	食事の役割と中学生の栄養の特徴	・ 食事の役割
6		・ 私たちの食生活
		・ 栄養素の種類と働き
		・ 中学生に必要な栄養
7	中学生に必要な栄養を満たす食事	・ 食品に含まれる栄養素
9	前期末テスト	・ 6つの食品群と食品群別摂取量の目安
		・ バランスの良い献立作り
10	調理のための食品の選択と購入	・ 食品の選択と購入
11		・ 生鮮食品の特徴
		・ 加工食品の特徴
		・ 食品の保存と食中毒の防止
12	日常食の調理と地域の食文化	・ 日常食の調理
1		・ いつも確かめよう 調理の基礎技能
		・ 野菜・いも・肉・魚の調理
		・ 日本の食文化と和食
2	学年末テスト	
	持続可能な食生活	・ 持続可能な食生活をめざして
3	布を用いた小物の製作	・ 生活小物の製作 作品製作

2025年度 飯南中学校 第2学年【教科： 家庭】シラバス

1.教科の目標

生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、衣食住などに関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を育成することを目指す。

2.評価の観点と内容

	観点	内容
①	生活や技能についての知識・技能	家族・家庭の基本的な機能について理解を深め、生活の自立に必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて理解しているとともに、それらに係る技能を身に付けている。
②	生活や技能についての思考・判断・表現	これからの生活を展望し、家族・家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。
③	主体的に学習に取り組む態度	家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。

3.評価方法

- ①実習・作品。定期テスト。
 ②実習・作品。ワーク。定期テスト。
 ③実習・作品。授業の準備物。提出物。授業態度。

4.学習の手引き

使用教材	教科書 新しい技術・家庭 家庭分野 副教材 ワーク ICT機器 ※学校で1人1台用意します。	もちもの 教科書 ワーク 裁縫箱（必要時） その他、実習に必要なもの （教材に応じて授業等で連絡します）
学習方法	学 校 ・準備（教科書、ワーク、課題等）をきちんとしよう。 ・授業の準備物を忘れないようにしよう。 ・始業チャイムまでに用具の準備を済ませておこう。 ・先生の説明を集中して聞き、しっかりと授業に取り組もう。 ・実習時は安全に注意し、集中して取り組もう。 ・実習時は自分の用具を整理整頓し、終了時は周囲の後片付けもきちんとしよう。 ・提出物の期限は必ず守ろう。 家 庭 ・定期テストに備えて、普段からしっかり復習をしておこう。 ・ワークは授業を受けたところまでを取り組み、丸つけまでしよう。	

5. 年間計画（2年）

月	単元名	内容
4	衣服の選択と手入れ	・ どうして衣服を着るのだろう
5		・ 私らしさとT P O ～着方の工夫～
6		・ 日本の衣文化
7		・ 衣服計画と必要な衣服の選択
8	生活を豊かにするために	・ 衣服の手入れ
9		・ 持続可能な衣生活を目指して
10		・ 作って楽しい布作品
11		・ 期末テスト
12	住まいの役割と安全な住まい方	・ もしも住まいがなかったら
1		・ 住まいと気候風土の関わり
2		・ 健康で快適な室内環境
3		・ 家族の住まいを安全・安心に
4	学年末テスト	・ 災害への対策
5		・ 持続可能な住生活を目指して
6		
7		
8	1. 布を用いた小物の製作	・ 生活小物の製作
9		作品製作
10		
11		
12		

2025年度 飯南中学校 第3学年【教科： 家庭】シラバス

1.教科の目標

生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、衣食住などに関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を育成することを目指す。

2.評価の観点と内容

	観点	内容
①	生活や技能についての知識・技能	家族・家庭の基本的な機能について理解を深め、生活の自立に必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて理解しているとともに、それらに係る技能を身に付けている。
②	生活や技能についての思考・判断・表現	これからの生活を展望し、家族・家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。
③	主体的に学習に取り組む態度	家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。

3.評価方法

- ①実習・作品。定期テスト。
 ②実習・作品。ワーク。定期テスト。
 ③実習・作品。授業の準備物。提出物。授業態度。

4.学習の手引き

使用教材	教科書 新しい技術・家庭 家庭分野 副教材 ワーク ICT機器 ※学校で1人1台用意します。	もちもの 教科書 ワーク 裁縫箱（必要時） その他、実習に必要なもの （教材に応じて授業等で連絡します）
学習方法	学 校 家 庭	・準備（教科書、ワーク、課題等）をきちんとしよう。 ・授業の準備物を忘れないようにしよう。 ・始業チャイムまでに用具の準備を済ませておこう。 ・先生の説明を集中して聞き、しっかりと授業に取り組もう。 ・実習時は安全に注意し、集中して取り組もう。 ・実習時は自分の用具を整理整頓し、終了時は周囲の後片付けもきちんとしよう。 ・提出物の期限は必ず守ろう。 ・定期テストに備えて、普段からしっかり復習をしておこう。 ・ワークは授業を受けたところまでを取り組み、丸つけまでしよう。

5. 年間計画（3年）

月	単元名	内容
4	私たちの消費生活 責任ある消費者になるために 前期末テスト	・消費者としての自覚
5		・購入方法と支払方法
6		・バランス良く計画的な金銭の管理
7		・消費者トラブルとその対策
8		・消費者としてできること
9		・省エネルギーと持続可能な社会
10		・持続可能な消費生活を目指して
11		・幼児の体と心の発達
12		・幼児の1日の生活
1	布を用いた小物の製作 後期中間テスト	・生活小物の製作
2		作品製作

2025年度 飯南中学校 第1学年 英語科シラバス

1. 教科の目標

外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、簡単な情報や考えなどを理解したり表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を育成することを目指す。

2. 評価の観点及び評価方法

観 点	知識・技能	外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどを理解するとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けているか。
	思考・判断・表現	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で簡単な情報や考えなどを理解したり、これらを活用して表現したり、伝え合ったりすることができる力を身に付けているか。
	主体的に学習に取り組む態度	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、知識及び技能、思考力、判断力、表現力を身に付けるために粘り強く取り組んでいるか。また、自分に合った学習方法を考えているか。
方 法	・授業中の様子 ・提出物 ・テスト	①授業内容を踏まえ、粘り強く学ぼうとしているか。 ②積極的にペアやグループ、先生と英語でコミュニケーションをとろうとしているか。 ①ワーク、プリント(自主的に問題を解き、答え合わせや訂正ができているか) ②ふりかえり(めあてに対してふりかえり、学習の調整をしようとしているか) ③家庭学習 ①定期テスト(観点別内容に沿ってどこまで到達しているか) ②パフォーマンステスト(スピーチ、インタビュー) ③小テスト

3. 学習の手引き

使用教材		NEW HORIZON ENGLISH COURSE 1
もちもの		教科書、めきめきEnglish1、英語ワークノート、ファイル
学 習 方 法	学校	教科書に沿って学習を進める。1ミニットトーク、スモールトークなど英語のコミュニケーション能力を育成するために、読む、聞く、話す(発表・やりとり)の4技能全てに重きをおいた授業で進めていく。そのためにペア活動やグループ活動での英語でのコミュニケーションのやり取りを大切にしてい。生徒自身の発音ややり取りを振り返るなど、タブレット端末を効果的に活用していく。また、必要に応じた各種小テストを実施し、知識の定着を徹底していく。
	家庭	宿題(ノート・ワーク・プリント・単語意味調べ・音読)を行う。音読は授業で学習した教科書の本文を何度も声に出して音読する。タブレット端末のeライブラリ機能を使って、基礎・基本を定着させる。

4. 年間計画

期	月	単元名・教材名	学習内容	評価
前 期	4	Unit 0 Nice to Meet You	挨拶をしたり、質問したり、答えたりする アルファベットの名前と音 英語の語順	クラスメートとあいさつをしたり、好きなものをたずね合ったりすることができる。
		Unit 1 Hello, Everyone!	1人称、2人称が主語の一般動詞の文、be動詞の文	自分のことを伝えたり、相手のことをたずねたりすることができる。
	5	Unit 2 Our New Teacher	3人称が主語のbe動詞の文 canの文	身近な人やものについて紹介したり、たずねたりすることができる。
		Unit 3 Our School	What, Who, How, When, Where, 場所を表す前置詞	知らないものや人についてたずねたり、いつ・どこなのかをたずねたりすることができる。
	6	Unit 4 Friends in New Zealand	How many, What time, What + 名詞 命令文	数や時刻、好きなものについてたずねたり、指示や助言をしたりすることができる。

後 期	7	Stage Activity 1 "All about Me" Poster 夏休み特集 Our Summer Vacations	既習事項の総復習 動詞の過去形	自分の好きなことについて、つながりのある文章を作り、英語で自己紹介の発表ができる。 夏の思い出を伝え合うことができる。
	9	Unit 5 My Brother in Hawaii	3人称単数現在形(一般動詞)の文	自分と相手以外の人やものなどについて、たずねたり伝えたりすることができる。
	10	Scene 1 コマーシャル Unit 6 A Rakugo Performer from the U.K. Scene 2 友達の家で	人称代名詞の目的格 Which, Whose Can I ...? Can you ...?	コマーシャルを聞き、必要な情報を聞き取ることができる。 自分と相手以外の人について話したり、だれのものかをたずねたりすることができる。 身近な人に許可を求めたり、依頼したりすることができる。
	11	Unit 7 An Online Tour of the U.K. Scene 3 道案内	現在進行形 感嘆文(How ...! How ...!)	今していることについて説明したり、たずねたりすることができる。 徒歩での道順をたずねたり、教えたりすることができる。
	12	Unit 8 Think Globally, Act Locally Scene 4 レストラン Stage Activity 2 My Hero	want(try, need) to 動詞 look 形容詞 レストランで注文したり、勧めたりするときとその答え方の表現 既習事項の総復習	したいことや、する必要のあることなどについて説明したり、たずねたりすることができる。 レストランなどで、注文をしたり質問に答えたりすることができる。 好きな有名人やあこがれの人についてたずねたり、説明したりすることができる。
	1	Unit 9 Winter Vacation Scene 5 旅先からの便り	一般動詞の過去形(規則動詞・不規則動詞)	過去の出来事について説明したり、たずねたりすることができる。 旅先からの絵はがきを書くことができる。
	2	Unit 10 This Year's Memories Scene 6 病院にて	be動詞の過去形 過去進行形 There is(are) ~	過去の状態や気持ち、過去のある時点でしていたことについて説明することができる。 症状やこれまでの出来事などを伝えることができる。
	3	Stage Activity 3 My Favorite Event This Year Let's Read Gon, the Fox	既習事項の総復習	思い出に残った出来事について発表することができる。 物語を読み、場面や登場人物の心情の変化を読み取ったり、気持ちを込めて音読できる。

2025年度 飯南中学校 第2学年 英語科シラバス

1. 教科の目標

外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、簡単な情報や考えなどを理解したり表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を育成することを目指す。

2. 評価の観点及び評価方法

観 点	知識・技能	外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどを理解するとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けているか。
	思考・判断・表現	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で簡単な情報や考えなどを理解したり、これらを活用して表現したり、伝え合ったりすることができる力を身に付けているか。
	主体的に学習に取り組む態度	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、知識及び技能、思考力、判断力、表現力を身に付けるために粘り強く取り組んでいるか。また、自分に合った学習方法を考えているか。
方 法	・授業中の様子 ・提出物 ・テスト	①授業内容を踏まえ、粘り強く学ぼうとしているか。 ②積極的にペアやグループ、先生と英語でコミュニケーションをとろうとしているか。 ①ワーク、プリント(自主的に問題を解き、答え合わせや訂正ができていないか) ②ふりかえり(めあてに対してふりかえり、学習の調整をしようとしているか) ③家庭学習 ①定期テスト(観点別内容に沿ってどこまで到達しているか) ②パフォーマンステスト(スピーチ、インタビュー) ③小テスト

3. 学習の手引き

使用教材		NEW HORIZON ENGLISH COURSE 2
もちもの		教科書、めきめきEnglish2、英語ワークノート、ファイル
学 習 方 法	学 校	教科書に沿って学習を進める。1ミニッツトーク、スモールトークなど英語のコミュニケーション能力を育成するために、読む、聞く、話す(発表・やりとり)の4技能全てに重きをおいた授業で進めていく。そのためにペア活動やグループ活動での英語でのコミュニケーションのやり取りを大切にしてい。生徒自身の発音ややり取りを振り返るなど、タブレット端末を効果的に活用していく。また、必要に応じた各種小テストを実施し、知識の定着を徹底していく。
	家 庭	宿題(ノート・ワーク・プリント・単語意味調べ・音読)を行う。音読は授業で学習した教科書の本文を何度も声に出して音読する。タブレット端末のeライブラリ機能を使って、基礎・基本を定着させる。

4. 年間計画

期	月	単元名・教材名	学習内容	評価
前 期	4	Unit 0 My Spring Vacation	動詞の過去形	・これまでに学んだことを用いて、春休みにしたことやその感想について伝え合うことができる。
		Unit 1 What can we experience on a trip?	be going to, 助動詞will, SV00, SV0C	・自分が立てたプランを提案することができる。
	5	Scene 1 機内放送 Unit 2 What is local food? Scene 2 旅行先で	接続詞when, if, because, that May I ~? Could you ~?	・機内放送を聞き、必要な情報を聞き取ることができる。 ・好きな食べ物やその理由について、紹介することができる。 ・場面や相手に応じて、ていねいに許可を求めたり、依頼したりすることができる。

後 期	6	Unit 3 What kind of job are you interested in? Scene 3 仕事についてのインタビュー	不定詞(副詞的用法、形容詞的用法), It is...+to	・将来像や夢などについて考え、取り組んでいきたいことについて説明することができる。 ・インタビューを聞き取ることができる。
		Stage Activity 1 My Favorite Japanese Food Let's Read 1 History of Clocks	既習事項の総復習	・自分のいちばん好きな日本食について、その特徴や好きな理由を発表することができる。 ・説明文を読み、時計についての歴史を読み取ることができる。
		Unit 4 What is important in a homestay?	have to, do not have to, 助動詞must, must not, 動名詞(目的語・主語)	・海外との生活習慣や文化のちがいを知り、取るべき行動についての考えを伝えることができる。
	10	Scene 4 ホームステイのお礼状 Unit 5 What design is good for everyone? Scene 5 アナウンス・案内	look forward to 動名詞 疑問詞+to 主語+動詞+(人)+疑問詞+to 主語+be動詞+形容詞+that Why don't you ~?	・お世話になった人に、手紙で感謝の気持ちを書き伝えることができる。 ・取り入れたいユニバーサルデザインについて伝え合うことができる。 ・案内を聞き、イベントなどの情報を聞き取ることができる。
		Unit 6 How can we make a good presentation? Scene 6 電車の乗りかえ	比較表現 (…er, the …est, more…, the most …, better, best, as…as~) Could you tell me how to get to…? Take…, 主語+動詞+(人)+疑問詞+to	・身近なトピックについて調査を行い、データを比べて発表することができる。 ・状況や相手の要望に応じて、乗り物での行き方を伝えることができる。
		Stage Activity 2 My School and School Life Let's Read 2 A Glass of Milk	既習事項の総復習	・自分の学校や学校生活について、具体例をまじえながら説明できる。 ・物語を読み、場面や登場人物の心情の変化を読み取ったり、気持ちを込めて音読したりすることができる。
	1	Unit 7 What are World Heritage sites and their problems?	受け身(平叙文、疑問文, by…つき, 助動詞つき)	・選んだ世界遺産の特徴や価値を説明することができる。
		Scene 7 買い物 Stage Activity 3 Let's Have a Discussion.	May I …?, Yes, please. I'm looking for ~ 既習事項の総復習	・自分の好みや要望を伝えながら買い物をする ことができる。 ・自分の立場を明確にして、意見を述べる ことができる。
		Let's Read 3 Pictures and Our Beautiful Planet	既習事項の総復習	・人物の伝記を読んで、時系列を整理しながら内容を理解することができる。

2025年度 飯南中学校 第3学年 英語科シラバス

1. 教科の目標

外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、簡単な情報や考えなどを理解したり表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を育成することを目指す。

2. 評価の観点及び評価方法

観 点	知識・技能	外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどを理解するとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けているか。
	思考・判断・表現	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で簡単な情報や考えなどを理解したり、これらを活用して表現したり、伝え合ったりすることができる力を身に付けているか。
	主体的に学習に取り組む態度	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、知識及び技能、思考力、判断力、表現力を身に付けるために粘り強く取り組んでいるか。また、自分に合った学習方法を考えているか。
方 法	・授業中の様子 ・提出物 ・テスト	①授業内容を踏まえ、粘り強く学ぼうとしているか。 ②積極的にペアやグループ、先生と英語でコミュニケーションをとろうとしているか。 ①ワーク、プリント(自主的に問題を解き、答え合わせや訂正ができているか) ②ふりかえり(めあてに対してふりかえり、学習の調整をしようとしているか) ③家庭学習 ①定期テスト(観点別内容に沿ってどこまで到達しているか) ②パフォーマンステスト(スピーチ、インタビュー) ③小テスト

3. 学習の手引き

使用教材		NEW HORIZON ENGLISH COURSE 3
もちもの		教科書、めきめきEnglish3、英語ワークノート、ファイル
学 習 方 法	学校	教科書に沿って学習を進める。1ミニットーク、スモールトークなど英語のコミュニケーション能力を育成するために、読む、聞く、話す(発表・やりとり)の4技能全てに重きをおいた授業を進めていく。そのためにペア活動やグループ活動での英語でのコミュニケーションのやり取りを大切にしていく。生徒自身の発音ややり取りを振り返るなど、タブレット端末を効果的に活用していく。また、必要に応じた各種小テストを実施し、知識の定着を徹底していく。
	家庭	宿題(ノート・ワーク・プリント・単語意味調べ・音読)を行う。音読は授業で学習した教科書の本文を何度も声に出して音読する。タブレット端末のeライブラリ機能を使って、基礎・基本を定着させる。

4. 年間計画

期	月	単元名・教材名	学習内容	評価
前 期	4	Unit 0 Discover a New Side of Classroom	既習事項の復習	これまでに学んだことを用いて、最近夢になっていることやよくすること、その理由などについて伝え合うことができる。
		Unit 1 What is special about Japanese pop culture?	現在完了形(経験用法), SVOC(G=形容詞), SVOC(that節)	日本のポップカルチャーの魅力について、経験や感想と共に伝えることができる。
	5	Scene 1 ディスカッション Unit 2 How do you choose your clothes?	現在完了形(完了・継続用法), 現在完了進行形	ディスカッションを聞き、自分の意見をまとめるために必要な情報を理解することができる。人や環境にやさしいファッションの取り組みについて説明することができる。

	6	Scene 2 講演 Unit 3 How can we save animals?	〈It is ... (for+(人など))+to〉の文, 〈want+(人など)+to〉や〈let [help]+(人など)+動詞の原形	社会的な話題に関する講演を聞き、内容を理解することができる。 絶滅のおそれのある動物について知り、大切なことや取るべき行動について伝えることができる。
	7	Scene 3 グラフや表の活用 Stage Activity 1 Discover Japan	既習事項の総復習	資料から読み取った情報について、事実と意見を整理することができる。 日本や郷土の文化などについて、詳しい情報を加えて説明することができる。
	9	Let's Read 1 A Mother's Lullaby Unit 4 How can we help each other in a disaster?	間接疑問文とSV00(what節)の文, 現在分詞・過去分詞	物語を読んで、場面の変化や登場人物の心情などを理解し、気持ちをこめて音読することができる。 防災・安全への取り組みについてどんな助け合いができるかを考えて伝え合うことができる。
後 期	10	Scene 4 町中での手助け Unit 5 What makes a good leader?	Can I help you?, Shall I ~?, Would you like me to ~? 名詞を修飾する文(接触節) 関係代名詞who, that [which](主格・目的格)	相手の立場に立って、具体的な提案を申し出たり応じたりすることができる。 理想とする人がどんな人かを情報を加えて紹介できる。
	11	Scene 5 記事への意見 Stage Activity 2 My Activity Report	意見とその理由や根拠を書くための基本的な表現 既習事項の総復習	社会的な話題について、理由や根拠を含めて自分の意見を書くことができる。 これまでの経験をふり返って活動報告を発表することができる。
	12	Unit 6 What does it mean to be a global citizen? Scene 6 テレビの国際ニュース	仮定法 主語を説明する関係代名詞	世界の現状を理解し、願いや思いを伝えることができる。 ニュースを聞いて、概要や要点を理解することができる。
	1	Stage Activity 3 Let's Have a Mini Debate. Let's Read 2 Power Your Future	既習事項の総復習	ミニディベートをすることができる。 エネルギー問題に関する説明文を読んで、概要を捉えることができる。
	2	Let's Read 3 Coloring Outside the Lines	既習事項の総復習	伝記を読んで、その歩みや功績と、彼の絵本にこめられたメッセージを読み取ることができる。